

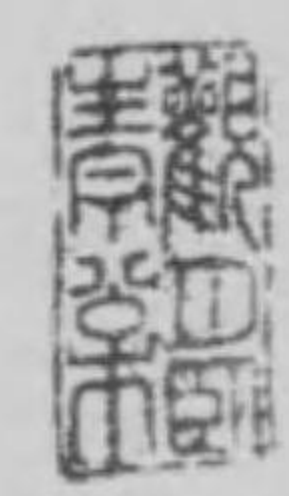
423
44



弘法大師靈場案内高野山
四國八十八所寫真帖
完



423-44



高橋

大正
10 3. 15
内交

高橋國貞
大正十年三月十五日





通照

高師山管長法印書



鎮鎮
國家
樂



大師降誕生之靈場
屏風浦早通古與在
宥有樂



序

社會ハ相互供養ノ共同生活ヲ営ムベキ場所
デアリマス人間ハ各自ノ能力ヲ社會ニ提供シテ其ノ
共同幸福ヲ増進シソシテ同胞ノ親シクシテ仲良シ暮
シテ行クベシナラズ人ノ生ハ生キ甲斐ノ無イニシテモデアリス
然ルニ斯ウ言フ共同生活ヲ営ムニ就テ根本的ニ
大切ナモノハ大慈悲を靈ニ對スル信仰デアリマス人
間ハ本靈ヲ信仰シ此ヲ稱シテ神ニナラナラズ人ノ到底
相互供養ノ精神ヲ以テ社會ノ共同生活ニ奉仕スル
コトが出来ナイト信ジマス現代人ハ心ガ荒レ果テ其ノ
思想ガ墮惡ニ向イマアルノ全ク大靈ニ對スル信仰
ヲ缺キ同胞相互ノ情念ヲ失テ結果デアルト信
ジマス故ニ現代ノ思想界ヲ救済シ社會生活ヲ安定
ニ導クニ何ヨリモ先ヅ大靈ニ對スル信仰ヲ啓蒙
スルコトガ必要デアリマス然ルニ斯ル信仰ヲ發達スルニ
種々ナ方法ガ有スガ其ノ内テ趣味ガアツテ簡單テ
而シテ實行シ易イモノハ靈場巡拝デアト思ヒマス春
ハ遠山ノ霞マヤ色マシク花夏ハ怒ルカ如キ雲ノ峰

ヤカ強イ深緑ノ森秋ハ澄ミ渡リ空ヤ野末ニ
招ク尾花時折ノ橋リ空ル山由ノ異色ニ憬ル思
ヒラ身軽イ旅衣ニ色ニテ氣ノ合ク同志ガ後仰ラ語
リナガラ此處彼処ノ靈場ヲ巡拝シテ居ト其心何時
ノ間ニヤラ靈氣ニ浸セテ眩ノ底カラ法悦ノ湧キ出様
ニナリマス其ノ結果人間ニ對シテ厚イ同情ガ起リ相互供
養ノ精神ヲ以テ悦シテ共同生活ニ奉仕シ得様ナリマス
四國ノ山水ノ美イコトヤ其ノ靈場ノ尊イコトハ今更事
新シク申スマデモナイアリマス若シ前述べ如キニ玉露ガ
ヨリテ行ハルニナラバ四國ノ靈場巡拝ニ信仰ヲ練ル思
想ヲ淨メル爲メニ最良ノ方法デアルト信ジマス然ルニ
昔カラ四國巡拝ト言ハルニ迷信家カ之病人ノスルアトハ
思ヒテ識者ノ間ニ顧ミラレナイノハ實ニ遺憾ナリト
デアリマスコレ私ハ大正八年ノ春カラ自カ身ヲ身テ
四國巡拝ヲ實行シ且ツ此ヲ在ノ識者ニ勸メテ居ル
ノデアリマス

香川縣高松市人岡部長太郎君ハ熱心ナル四國巡
拝ノ鼓吹者デアリマス完全ナル靈場案内ヲ世ニ出

サントノ心願カラ數年来多大ノ金カト勞カトヲ費

シテ八十八ヶ所ヲ寫真ニ撮リツラフコトイハ版ヲ印

刷スルコトニ努メテ居ラレマシカ此ノ頃ニ至リテ漸ク

シテ全部出来上リマシテ見ト非常ニ精巧ニ美番

且ツ親切ニ出来居テ此種ノ爲メニ無比ニ手引

テアリマス。私ハ大正八年春カラ自白身ヲ
四國巡拝ヲ實行シ且ツ此ヲ在ノ識者ニ勸メテ居ル
ノデアリマス

香川縣高松市人岡部茂太郎君ハ熱心ナル四國巡
拝ノ鼓吹者デアリマス。完全ナル霊場案内ヲ世ニ出

サントノ心願カラ數年来多大ノ金カト勞カトヲ費
シテ八十ハケ所ヲ寫真ニ撮リツラフコトイハ極大印
刷スルコトハ妨メテ居ラレタガ此ノ頃ニ至リテ漸ク
シテ全部出来上リメシ見ト非常ニ精巧ニ美麗
且ツ親切ニ出来テ居テ巡拝者ノ爲ニ無比ノ手引
デアリマス。私ハ四國巡拝ヲ世間ニ宣傳シ度イと思
居ル折柄皆營業ヲ越越シテ熱心ヲ以テ斯ル美事
ヲ寫真帖ヲ出サシメ岡部君ノ芳名ヲ對シテ心カラ
感謝シテ居ルノデアリマス。聊カ私ノ感シタ可
記シテ本帖ノ序文ト致シメシメ

大正十年一月

福奉友信



國體鞏固萬一歲

寶祚延長幾千秋

五穀みりて富きかえ

各病息災且安産

壽命は長く幸福おほく

道徳をかんに将す

洪宗融合同祭昌

信心了如法悦

日月清明雨風名

その情に志たうみそ

國土も人民も安かれと

いふは大師の祈也

悪業ふかき伐れしは

繫かぬ沖の捨小舟

潜きたよらむ身

身はらまでし淨く

生死の苦海はるもなきん

そのあはれきに同情を

とせて出現す佛たち

大師も佛の一なり

殊に大妙の活佛

このは大師の祈り也

悪業ふかき我れしは

紫かぬ沖の捨小舟

漕ぎてたよらむ崎
身はらまて浮くつみ

生死の苦海はてしなき

まのあはれきに同情を

とせて出現ます佛たち

大師も佛の一ふと

珠に大沙の活佛

弘誓の船に櫓棹とり

救済たまへる慈悲の

不思議の現在あたら

八十八の見惑を業障もたのつら

消えそ跡を四國路の大地

貪瞋癡 後の罪垢も四の國

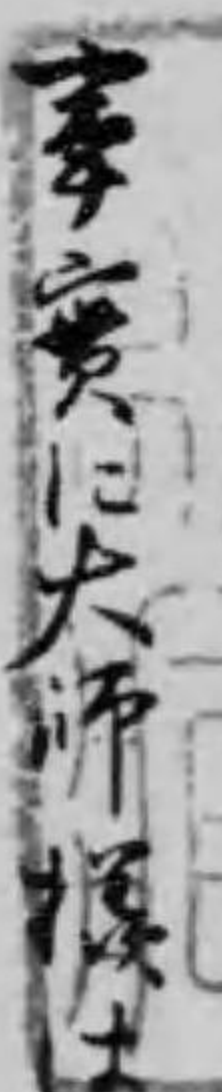
巡禮中に法あらはるる

何らたのしゆくまかへるも
大師は我れと同行二人

佛光道人 岩橋三溪 題

は—かき

地に五粒の北開と空に紫雲を舞ひくまの目よあの脚祥
甲掛法を詠歌の聲清らかなる爾十八ヶ所の巡禮者や
世界の靈山此世の淨土といわさる高野山への来詣
者をも見らざるもなく「あなた」は毫千年間上御入より
下萬民の信仰の標的となつて居る弘法大師とい存
知でしや—例今吾國民て宗派の別を知らぬ言は
「高野山弘法大師」と云はあの「いろは」を製作せられ
吾國文化の基と啓かれ走り世あのを世をかけて淨利益
の顯著なる大師様のお徳が眼の前にちりつくこと
で—



事實に大師様は毫千年有余年の昔に高野山の
苔むす奥之隈へ浄入定なされたり已奉日々修身を百
千に現すと津々濁々残る隈なく人々信不を齎はされ
現當二世の淨利益を垂れさせられつゝあつてあまますけ
れども廣い世間には宿善の薄きよて未の宏大もない大師様の
お慈悲に氣づかぬ方があつても知れない不幸にして日々罪惡の
巻に立ち迷ひて居る人がないでもないかふ言ふ人は一日も早
大師様のお神に逢つて限り知らぬ法悦を享け此世を
かけて未來まで至極安樂に過さるゝようお祈めらうし


お手引がしたいと数年か念じて居りましたが種々の因縁が
あつまりて斯の梁りを製作しました

實に今日では大師様の清徳の輝きは世界的と云つて

南無大師遍照金剛の法名を聞かふは法はない有様で
あります

今大師様の清徳を頂かふとすれば「弘法大師の誓願に依り
二世の信心を決定すべし」と云ふ教條と堅く深くまもりて縁を
求め穢と得て一度現世の淨土たる高野山へ来詣し又信仰の
樂園なる四國霊場を巡拜なさいと云ふ「あなたは何宗の方
でも少しも差支はありません大師様の有難いとは佛と凡夫と
善人と悪人との間別なく一切平等に南無大師遍照金剛の
法名が一度自分の真心から唱へられたときすべての罪と災と心身
に引受て同行文の誓願のもとに現世安穩未來善生の
救にあづかれます若し信ずる心が一日違れば一日不安で暮
さねばならぬ理ですから一時も早く御縁を結ばれる様に御
誘致いたします

大正十年一月

著者 樂山 徳


おまひん

誘致一ます

大正十年一月

著者 樂山 哉



いふはにはいふは
さむかしのつね
なまをしのぶの
まけをいふは
いふは

大河内實知

空海



總本山金剛峯寺
 主殿本尊弘法大師壇上に皇室の尊儀を奉安す



抑も金剛峯寺は一山に名け玉ふ總稱にして現境域は豊太閤母堂菩提の爲に應
 其上人に命じて茲に一寺を建て青巖寺と名く明治元年太政官達を以て舊統に
 復す

金堂

本尊藥師如來(一丈六尺金色座像大師御作)大師の創建にして弘仁十年に切
 成る此堂は兜率内院摩尼殿を表し玉ふ



抑も金剛峯寺は一山に名け玉ふ總稱にして現境域は豊太閤母堂菩提の爲に應
其上人に命じて茲に一寺と建て青巖寺と名く明治元年太政官達を以て舊統に
復す

金堂

本尊藥師如來（一丈六尺金色坐像大師御作）大師の創建にして弘仁十年に切
成る此堂は兜率内院摩尼殿と表し玉ふ



后火災に燒失すること五度今の堂は萬延元年の建造なり其結構莊嚴善美と盡
し高趣雅巧世に比がなしと稱す

御影堂

本尊弘法大師にして承和二年御入定の以前真如親王其聖像を寫し奉るを大師自ら開眼し玉ふ御影を安置す現今の堂は弘化四年紀伊侯の願主なり



三結杵

瑞籬内の松は大師唐土より航海に際し密教相慮の靈地を占ふ為め眼州の津より八祖相承の三結杵を授け玉ふ結杵雲に入り東天に没す當山丈に方り結杵光を放ちて松梢に掛れり今の松は其實生四代目なり

准胝堂

本尊准胝佛母親世音は大師出家得度の本尊にして天祿年間此堂を創建し安置せり天祿の火災に罹り明治十六年再建成功せり





三銘杵

瑞籬の内の松は大師唐土より飯航に際し密教相應の靈地を占ふ爲の眼州の津より八祖相承の三銘杵を授け玉ふ銘杵雲に入り東天に没す當山丈に方り銘杵光を放ちて松樹に掛れり今の松は其實生四代目なり

准胝堂

本尊准胝佛母觀世音は大師出家得度の本尊にして天禄年間此堂を創建し安置せり天禄の火災に罹り明治十六年再建成功せり



西塔

本尊金剛界大日如來にして真然大徳大師の御遺付圖記に依り小松天皇に奏請し仁和三年創建す 高羽天皇御幸の時修理の院宜を賜い御願所となり天保五年再建

十

燈籠堂

大師の御遺旨に任せ真然僧正之を經始して御廟の拜殿とす中央に桃くる二大燈右ハ祈親上人再興の時石火を鑽りて照して以て常燈とす（俗に貧女の一燈といふ）



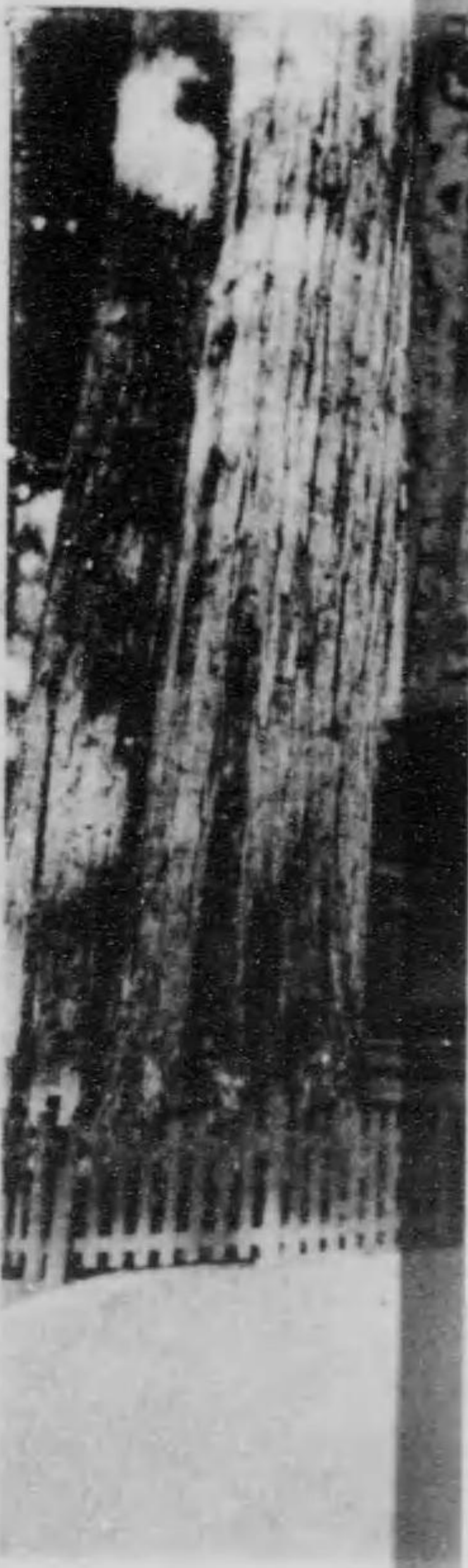
尤は白河法皇御幸の時三十万燈を掲け別に一燈を御手つから照し御祈念し玉ふ白河燈と稱す鳥羽后嵯峨上皇大相國頼通藤相國公經豊太閤東照公其他貴賤の獻燈堂に滿つ

御廟

關西府杉籠る玉川邊遠寂寥の絶境高潔清淨の靈域にして承和元年九月一日大師自ら點定し仁二年三月廿一日寅刻奄然御入定し玉ふ后五十日を経て六高弟御輿を早き此地に供奉す

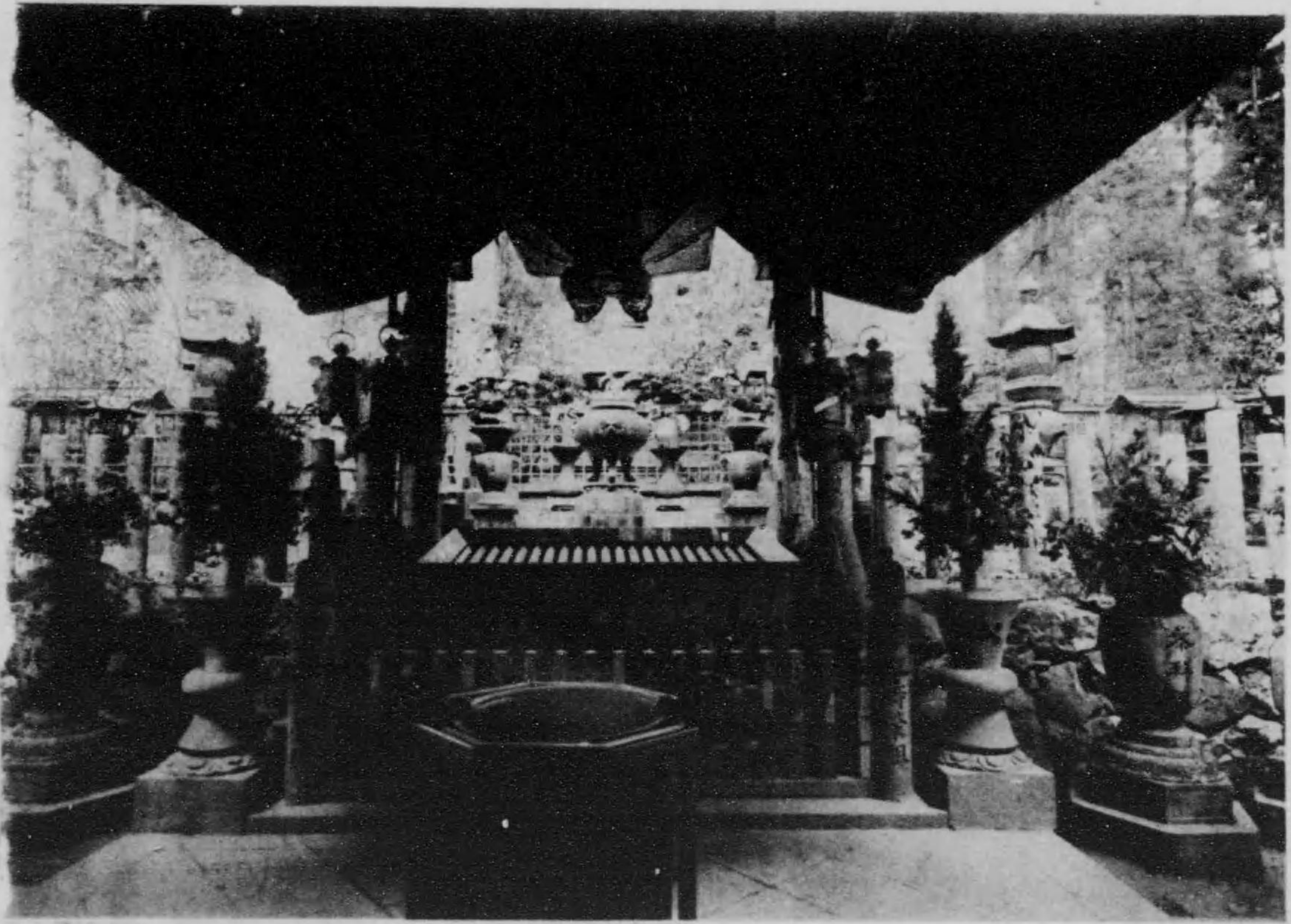


尤は白河法皇御幸の時三十万燈を掲げ別に一燈を御子つから照し御祈念し玉
 ふ白河燈と稱す鳥羽后嵯峨上皇大相國頼通藤相國公經登太閤東照公其他貴賤
 の獻燈堂に滿つ



御廟

園む蔚杉繞る玉川遊苑寂寥の絶境高潔清浄の靈域にして承和元年九月一日大師
 自ら點定し今二年三月廿一日寅刻奄然御入定し玉ふ后五十日を経て六高弟御喪
 を早き此地に供奉す



爾來天下の貴賤老幼參仰せば生身の大師の面影に接するの思を爲し必ず再三重
 ねて結縁し現世當來の慈救を仰ぐ

本尊弘法大師



誨教

有明の月はさへけり高野山

誠とあふぐ人の心ろに



持別靈場高松市高野山金剛峯寺讚岐別院

(高松局)完全な築港は四國の關門とも云ふべく各縣へ交通の機關備はり本土へ聯絡最も自由、茲より屋崎へ三十六丁電車の便あり、十八丁の阪を登る、途中、不食梨、西行の疊石あり

凡例

一、札所順拜は何れより始むるもまた其の處に歸る、京阪以東は阿波撫養に九州は伊豫八幡濱及び高濱に中國山陰は讚岐高松及び多度津に上陸するを順路とす。

一、道中に近路又は二様の道順ある箇所あり其の處に至りよく尋ねべし。

一、春季は到處通路宿ありと雖も秋季は農繁等の爲め休業多し日の暮れ早く宿を取るべし。

一、本書は四國八十八ヶ所本位に道順を記せり札所外に興院等々略す



讚岐別院

(高松局)完全な集港は四國の關門とも云ふべく各縣へ交通の機關備はり本土へ聯絡最も自由、茲より屋崎へ三十六丁電車の便あり、十八丁の坂を登る途中、不食梨、西行の疊石あり

凡例

一、札所願拜は何れより始むるもまた其の處に歸る、京阪以東は阿波撫養に九州は伊豫八幡濱及び高濱に中國山陰は讚岐高松及び多度津に上陸するを順路とす。

一、道中に近路又は二様の道順ある箇所あり其の處に至りよく尋ぬべし。

一、春季は到處通路宿ありと雖も秋季は農繁等の爲め休業多し日の暮れ早く宿を取るべし。

一、本書は四國八十八ヶ所本位に道順を記せり札所外に奥院等參詣すべき處あり各人の任意とす。

一、四國願拜の日数は四十日を充つれば可なり用具は、札ばさみ、納札、管笠、杖、荷負、合羽、脚半、甲掛、尻敷、茶碗箸、辨當等なり。

一、郵便書留小包は豫め札所を定めて差出し必ず其寺にて處理すべし、納經所にはがきは掲示し郵便信書は告知あり、見落すと再送の手數を要す注意すべし。

一、巡拜中は諸事堪忍の徳を守り同行宿泊等凡て親切を旨とし決して邪心あるべからず信心堅固なるべし、殊に札所及び朝夕の勤行は最も謹んで拜誦すべきなり。

一、同行は互に謙遜し徳を守り同宿各自の分を守り規律を尊むべし。

一、夜分帯を解きて臥せるは用心わるし、道連に肌を許すなど云ふ等の如く路銀を大切にすべし、また納經や荷物を人にたたくべからず。

一、四國八十八ヶ所は

| | | | |
|-----------|---------|-------------|----------|
| 阿波國、二十三ヶ所 | 里程約五十七里 | 一 | 番より二十三番迄 |
| 土佐國、十六ヶ所 | 八十五里 | 二十四番より三十九番迄 | |
| 伊豫國、二十六ヶ所 | 九十二里 | 四十番より六十五番迄 | |
| 讚岐國、二十三ヶ所 | 三十六里 | 六十六番より八十八番迄 | |

阿波國札所

阿波撫養港上陸の人は鳴戸の潮時を聞き合せ見物するもよし、撫養より三里平坦の道路なり、八十八ヶ所の最初の道場。

土佐國札所

土佐國安藝郡甲の浦村是より東寺へ十里三十五丁海路は津呂村迄漁船あり、陸路は甲の浦より生見、野根を過ぎ飛石剣石の難路二里木尻佐喜濱尾崎推名より(已上宿あり)比尾木坂之より左に折れ海岸通り三津村を経て東寺麓に達す。

伊豫國札所

愛媛縣南宇和郡一本松村、篠山権現の鳥居あり其より一里半にて平城に至る。

讃岐國札所

高松港は四國の關門とも云ふべく各縣への交通機關全備せり本土と四國の聯絡自由なり

高松市へ上陸の人は先づ日本一の稱ある栗林公園を見物せらるべし、(高松港及び高松驛より約十五丁電車の便あり)又築地町なる別格本山特別電場

高野山金剛峯寺讚岐別院へ參詣し(栗林公園前停留所より電車出晴停留所にて下車すべし公園又ハ築港より約十丁位あり)八十四番屋嶋寺へ行くが順路なり、別院より約三丁位東にして今橋停留所あり之れより八十四番、八十五番、八十六番行電車あり又高松驛より讚岐、伊豫、土佐、阿波等各方面札所行き漁車、漁船の便あり

勤行法則

拜し奉る此の處の御本尊、大師大神宮鎮守總して日本大小神祇、今上陛下實祚長遠父母師長六親眷屬乃至法界平等利益

懺悔文

我昔所造諸惡業、皆由無始貪瞋痴、從身語意之所生、一切我今皆懺

高松市へ上陸の人は先づ日本一の構ある栗林公園を見物せらるべし、
(高松港及び高松驛より約十五丁電車の便あり)又築地町なる別格本山
特別霊場

高野山金剛峯寺讚岐別院へ参詣し(栗林公園前停留所より電車出暗停留
所にて下車すべし公園又ハ築港より約十丁位あり)八十四番屋嶋寺へ行
くか順路なり、別院より約三丁位い東にして今橋停留所あり之れより
八十四番、八十五番、八十六番行電車あり又高松驛より讚岐、伊豫、
土佐、阿波等各方面札所行き汽車、汽船の便あり

勤行法則

拜し奉る此の處の御本尊、大師大神宮鎮守總して日本大小神祇、今上
陛下寶祚長遠父母師長六親眷屬乃至法界平等利益

懺悔文

我昔所造諸惡業、皆由無始貪瞋痴、從身語意之所生、一切我今皆懺
悔。

三歸

弟子某甲、盡未來際、歸依佛、歸依法、歸依僧。

三竟

弟子某甲、盡未來際、歸依佛竟、歸依法竟、歸依僧竟。

十善戒

弟子某甲、盡未來際、不殺生、不偷盜、不邪淫、不忘語、不綺語、
不惡口、不兩舌、不悭貪、不瞋恚、不邪見。

發菩提心真言

おんばうぢしつたぼだはだやみ。

三摩耶戒真言

おんさんまやさことばん。

十三佛真言

- 一、不動明王、なりまくさまんだばさらだんかん
- 二、釋迦如來、なりまくさまんだばだなんはく。
- 三、文殊菩薩、おんあらはしやなう。
- 四、普賢菩薩、おんさんまやさとばん。
- 五、地藏菩薩、おんかかかびさんまゑいそわか。
- 六、彌勒菩薩、おんばいたれいあそわか。
- 七、藥師如來、おんころくせんたりまたうきそわか。
- 八、聖觀音菩薩、おんあろりきやそわか。
- 九、勢至菩薩、おんさんざんくさくそわか。
- 十、阿彌陀如來、おんあみりたていせいからうん。
- 十一、阿闍如來、おんあきしゆびやうん。
- 十二、大日如來、おんばざらだとばん。
- 十三、虛空藏菩薩、なうぼうあきやしやぎやらばやおんありさやまりほりそわか。

光明真言

おんあほきやべいろしやなうまかほたらまにはんどまじんばらばら
たやうん。

大師寶號

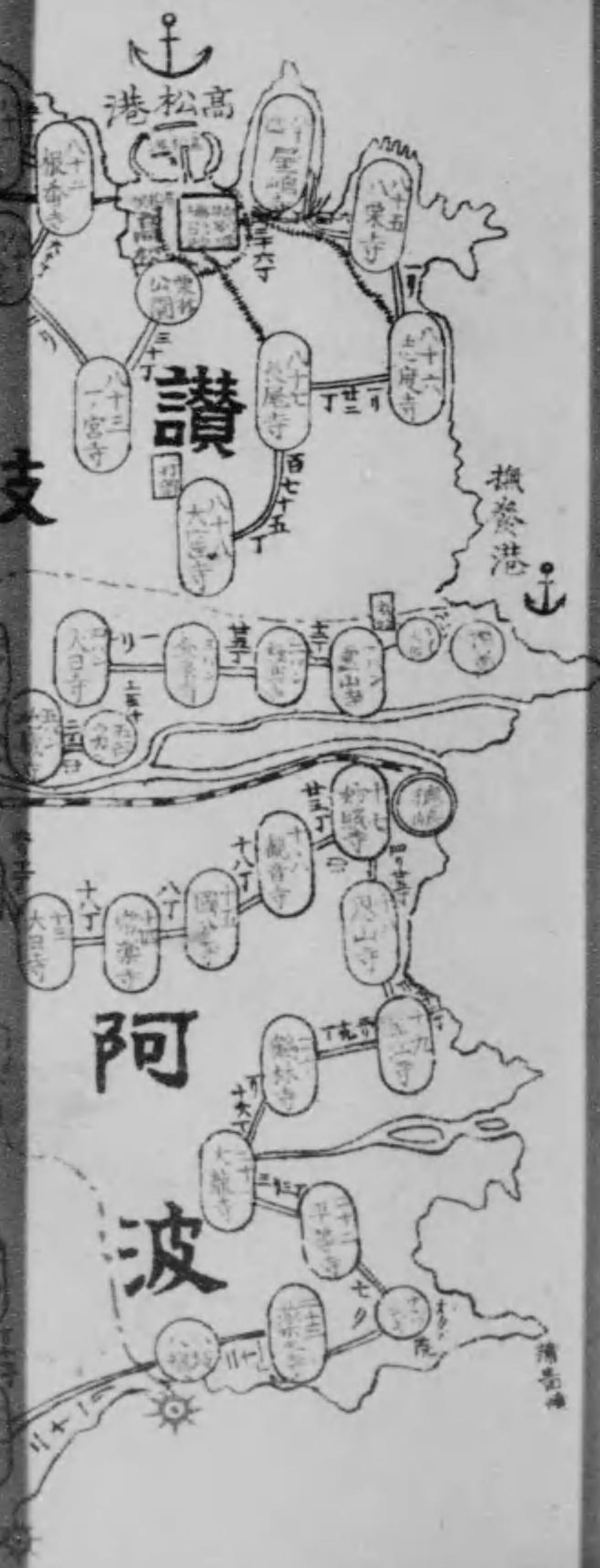
南無大師遍照金剛

詠歌

その礼所の御詠歌

廻向

願以此功德、普及於一切、我等與衆生、皆共成佛道。



おんあぼきやべいろしやなうまかほだらまにはんどまじんばらばらばり
たやうん。

大師寶號

南無大師遍照金剛

詠歌

その礼所の御詠歌

廻向

願以此功德、普及於一切、我等與衆生、皆共成佛道。



本尊釋迦如來

(開基行基)



詠歌

靈山の釋迦の御前にめぐりきて

とらづの罪も消へ去せたり



第一番 (高野真言派) 竺和山靈山寺

徳島縣板野郡板東村

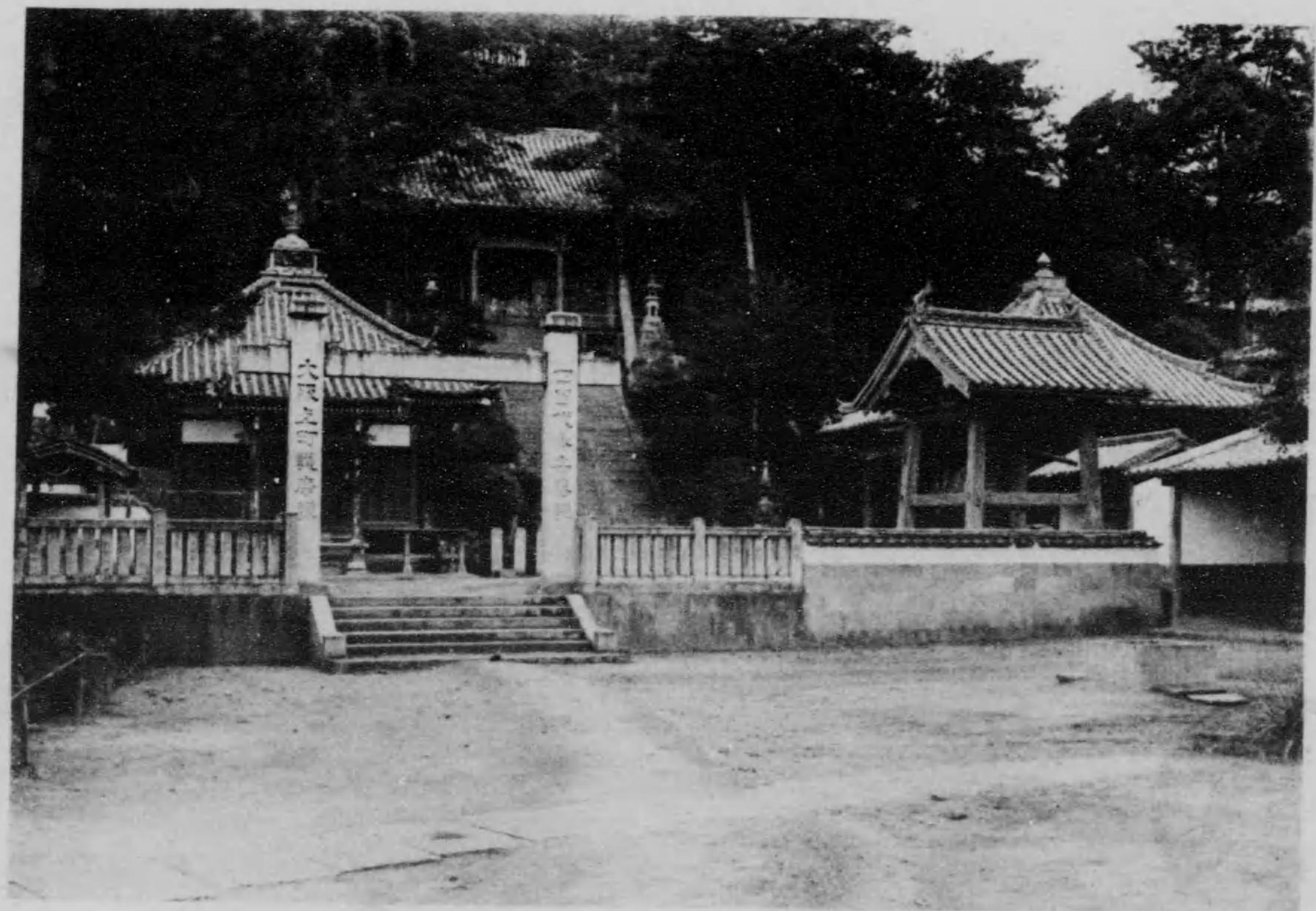
(板東局)北に國幣中社大麻産神社あり、
奥院東林院種時大師あり次へ十二丁

本尊阿彌陀如來 (開基行基)



詠歌

極樂の弥陀の浄土へ行きたくば
南無阿彌陀佛口癖にせよ



(板東局) 門前より本道に出で次へ三十丁

寺樂極山照日 (宗全) 番二第
村同郡同

本尊釋迦如來 (開基全大師作)



詠歌

極楽のたかりの池を思へた
黄金の泉すみたへたる

(板東局) 門前より本道に出で次へ三十丁

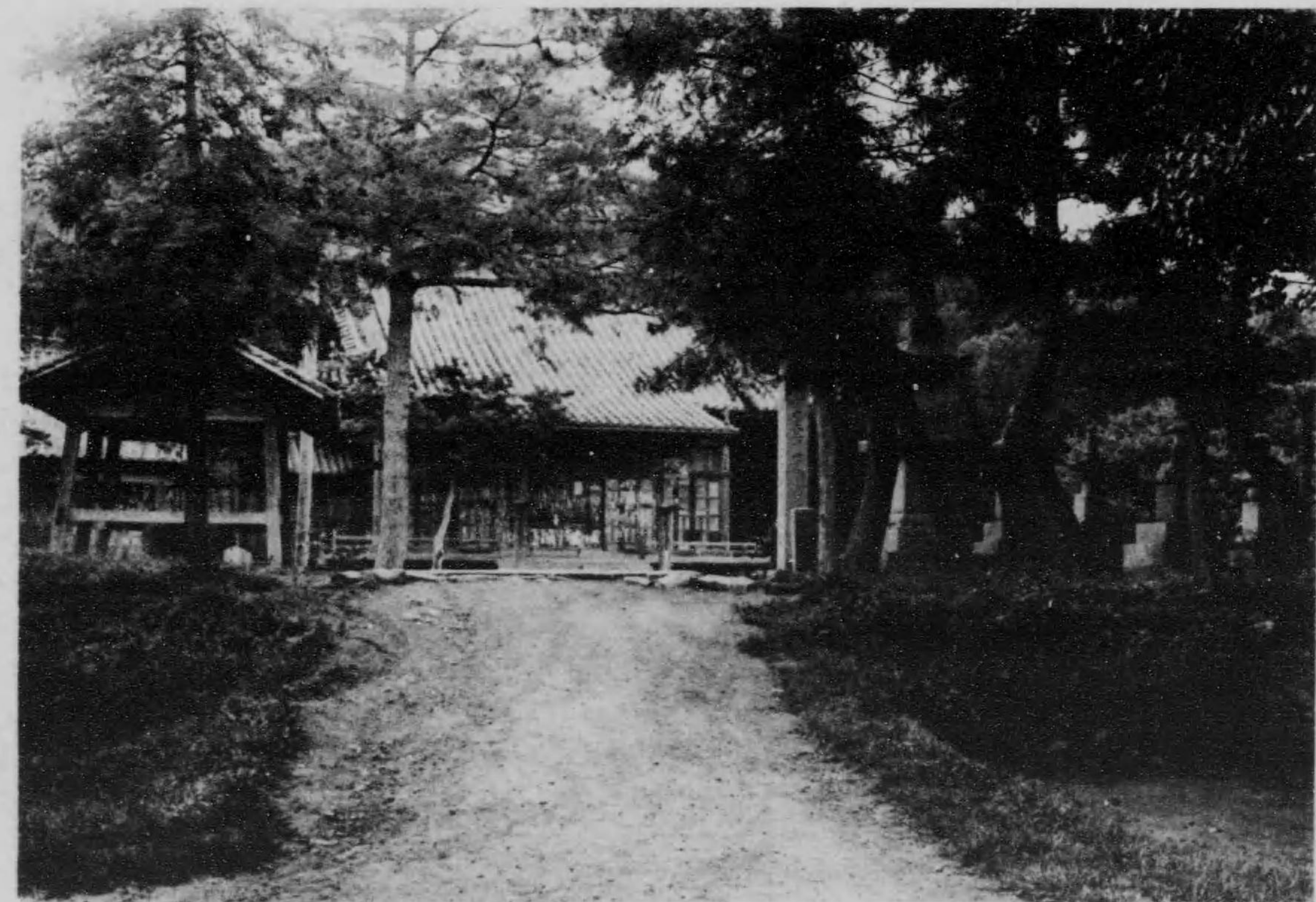


本尊釋迦如來 (開基全大師作)



福歌

極楽のたかりの池を思へたる
黄金の泉すみたへたる



(大寺局) 次へ五十丁

寺泉金山光亀 (宗全) 番三第
村同郡同

本尊大日如來（大師作）



詠歌

たのむれば月白妙の夜半なれや
たい黒谷ふすみぞめのそと



寺日大山巖黒（宗言真）番四第

村阪松郡同

（羅漢局）次へ十八丁、五番の奥院羅漢堂あり

本尊勝軍地藏菩薩（大師作）



詠歌

六道の能化の地藏大菩薩
みちびきたまへ屯の世後の世

(羅漢局) 次へ十八丁、五番の奥院羅漢堂あり



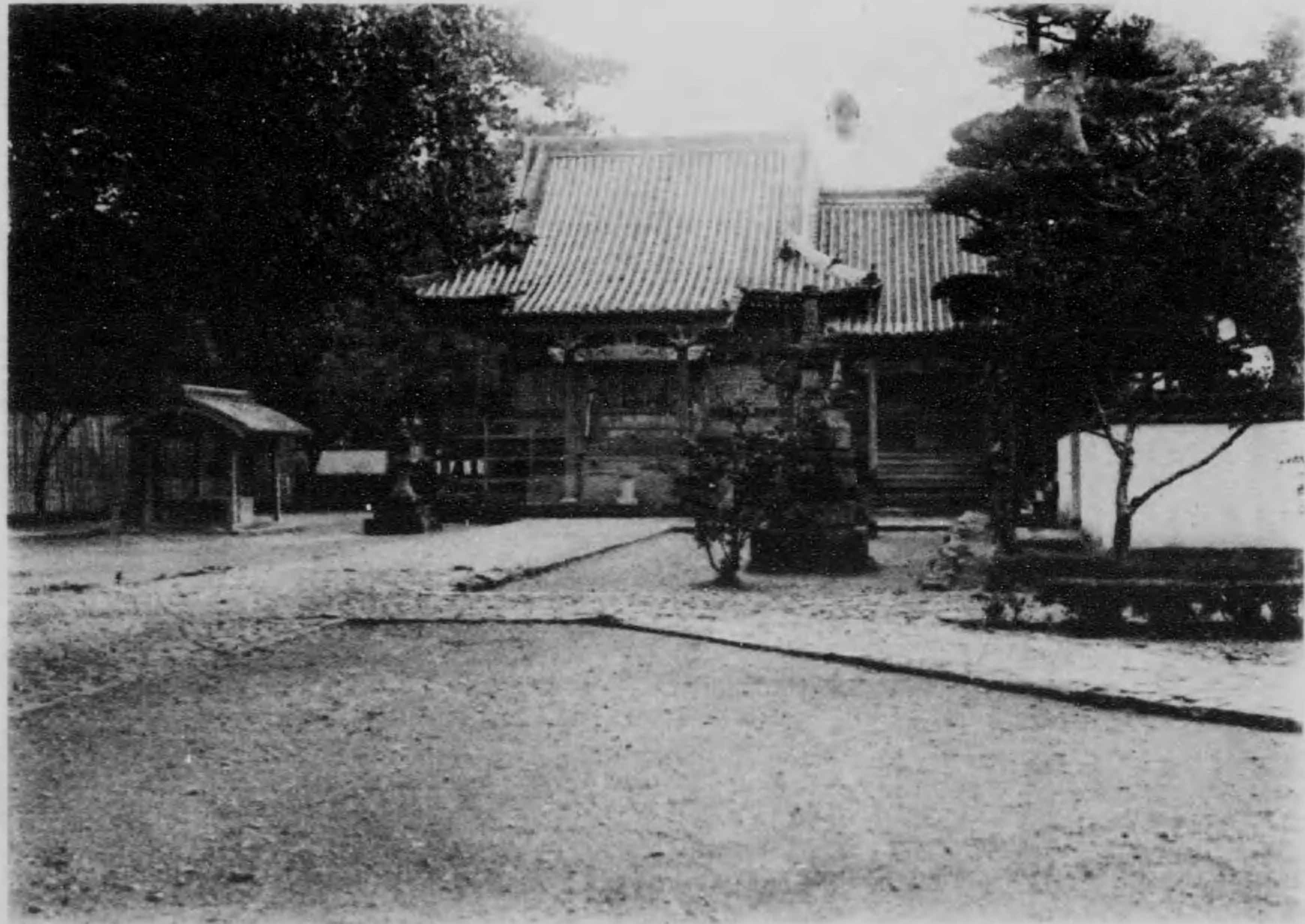
本尊勝軍地藏菩薩 (大師作)



詠歌

六道の能化の地藏大菩薩

みちびきたまへての世後の世



寺藏地山盡無 (宗言真) 番五第

村同郡同

(羅漢局) 宿あり次へ五十丁、鍛冶屋原に大梅檀あり



誦教

本尊藥師如來

(大師作)

かりの世に知行兼ふむと云う

あんらく國の守護をのそのよ



寺樂安山泉温(宗全) 番六第

村島松郡同

(鍛冶屋局)

次へ十丁、田甫を越へて



誦教

本尊阿彌陀如來

人間の八苦を早く離れぬは

いたらんかたは九念十念



(鍛冶屋局) 次へ十丁、田甫を越へて



寺

本尊阿彌陀如來



誨教

人間の八苦を早く離れよは
いたらんかたは九念十身



第七番 (真言宗) 光明山十樂寺

同郡御所村

(鍛冶屋原局) 次へ三十丁、本堂の右側より細經を出て
本道吉田村を過ぎ

本尊千手觀世音菩薩 (大師作)



詠歌

たまごとり水くま谷の寺にきて
 難行すも後の世のたえ



(八幡局) 次へ十八丁

第 八 番 (真高 言野 宗派) 普明山熊谷寺

阿波郡土成村

本尊釋迦如來

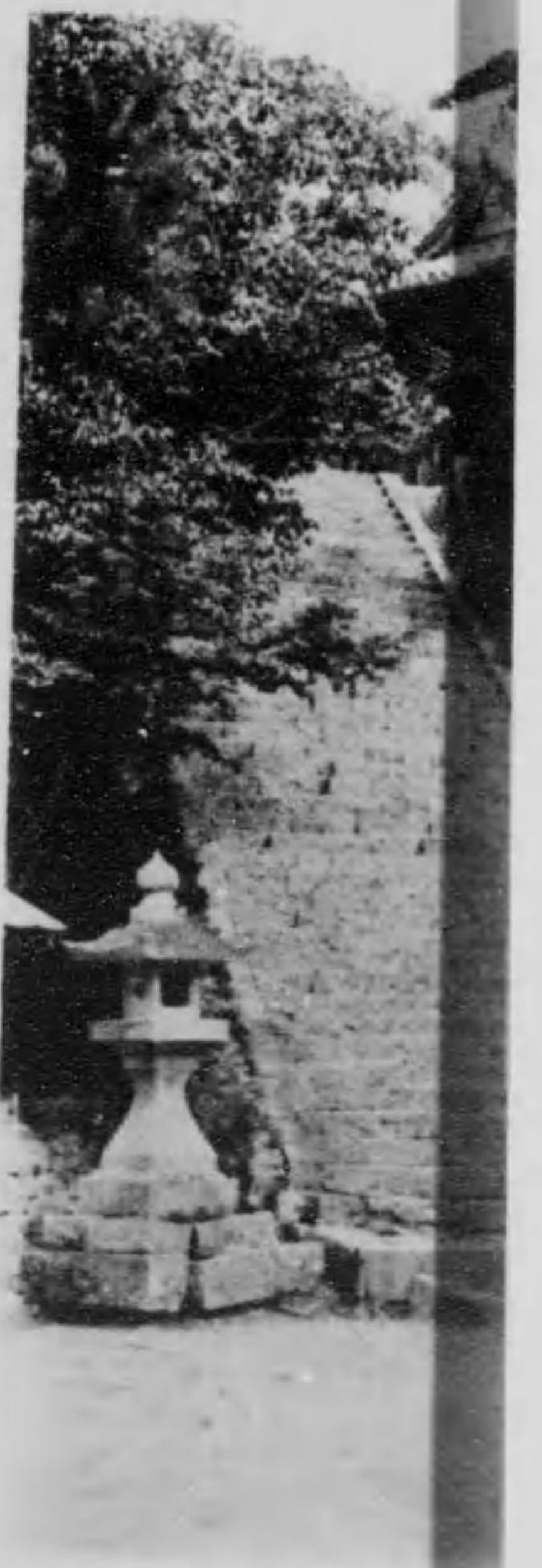


詠歌

大乘のいほうもとかもひるがし
 轉法輪の縁とこそまけ



(八幡局) 次へ十八丁



寺谷

本尊 釋迦如來



詠歌

大乘のひほうもとをかひるがし
轉法輪の縁とこそまけ



(八幡局) 次へ二十五丁、八丁山坂を上るなり

第九番 正覺山法輪寺 (真言宗 仁和寺派)

同郡同

本尊千手観世音菩薩 (大師作)



秘教

慈心をたゞ一とすじに切幡也

のちの世までの障りとぞふる



(八幡局) 次へ七十五丁、吉野川の本支流とも

渡船あり

第十番 (真言宗) 得度山切幡寺

同郡八幡村

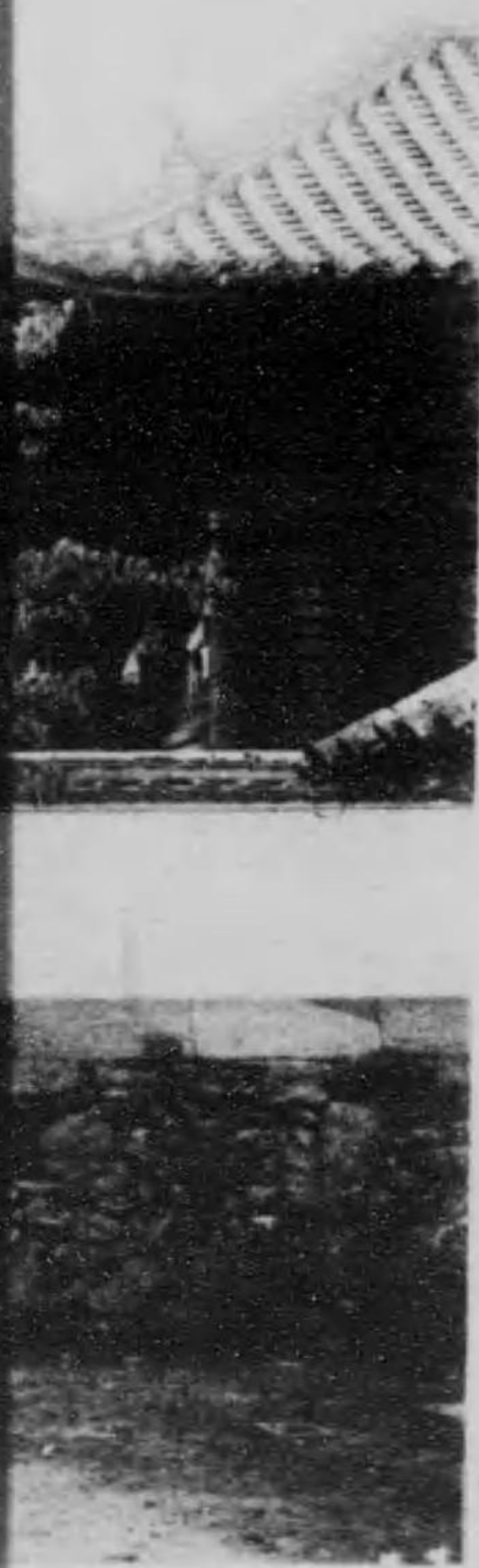
本尊薬師如来 (大師作)



秘教

色も声も無比中道の藤井寺

真如の波のたぬ日もなし





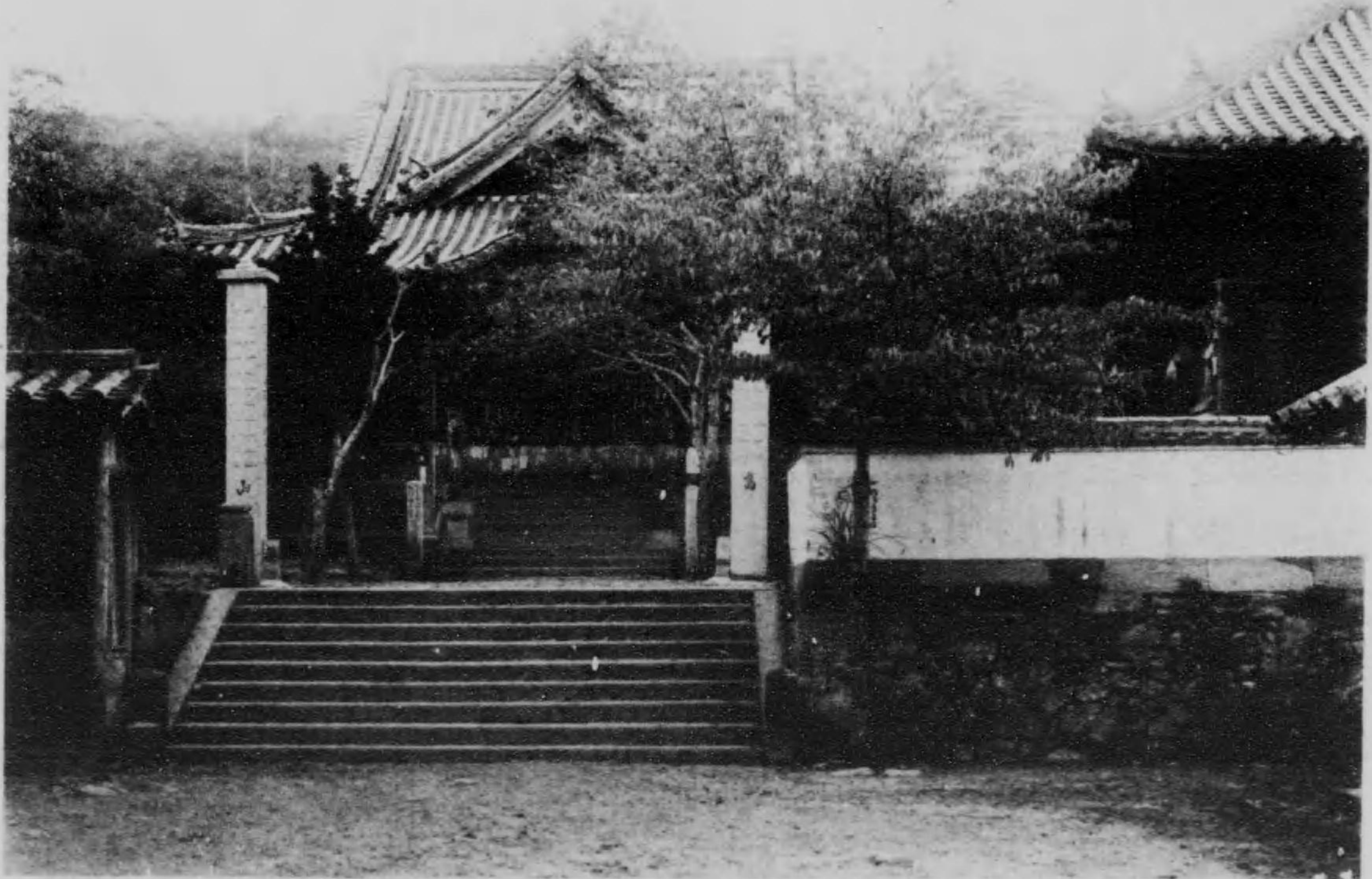
寺幡

(八幡局) 次へ七十五丁、吉野川の本支流とも
渡船あり

本尊 薬師如来 (大師作)



詠
色も香も無比中道の藤井寺
真如の波のたぬ日もなし



寺井藤山剛金(宗齋臨) 番一十第

村尾西郡植麻

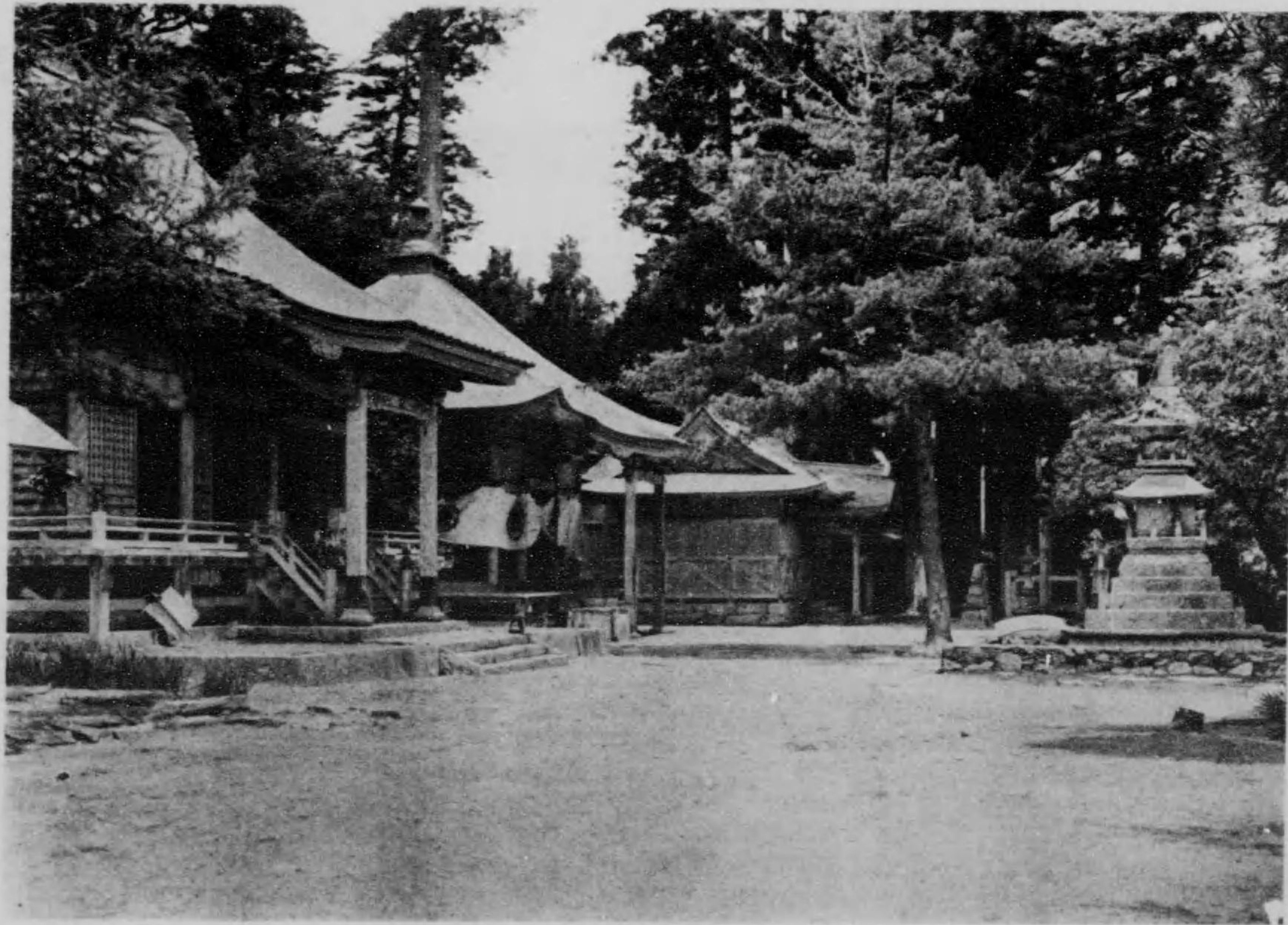
(川島局) 次へ百五十丁是より峻しよ山道、十八丁の急登りあり柳水
庵、一本杉より廿丁登り

本尊 虚空藏菩薩 (大師作) (役小角開基)



詠歌

のちの世と思へば 苦行焼山も
死出や 三途の産所ありとも



第 二十 番 (真言宗 高野) 摩盧山焼山寺

名 西 郡 下 分 上 山 村

(神領局) 奥院十八丁次へ八里、大門の下十丁枝杉庵あり伊豫荏原郷
衛門三郎が大師に罪障を懺悔し札所遍禮の始創を為したる此處に命
終すと墓あり、山を下りて新道鮎喰川に沿ふて風光明媚なり。

本尊 十一面觀世音菩薩 (大師作一宮本地佛)



詠歌

阿波の玉一の宮とやゆうたまき
かけてたりんや此の世後の世

(神領局)奥院十八丁次へ八里、大門の下十丁枝杉庵あり伊豫荏原郷
 衛門三郎が大師に罪障を懺悔し札所遍禮の始創を爲したる此處に命
 終すと墓あり、山を下りて新道鮎喰川に沿ふて風光明媚なり。



本尊十一面觀世音菩薩 (大師作一宮本地佛)



詠歌

阿波の玉一の宮とやゆうたままき
 かけてたりとや此の世後の世



(一宮局) 奥の院建治寺四十丁の山奥にあり、次へ十五丁鮎喰川を
 渡りて

寺日大山栗大(宗吉真)番三十第

村萬八上郡東名

寺

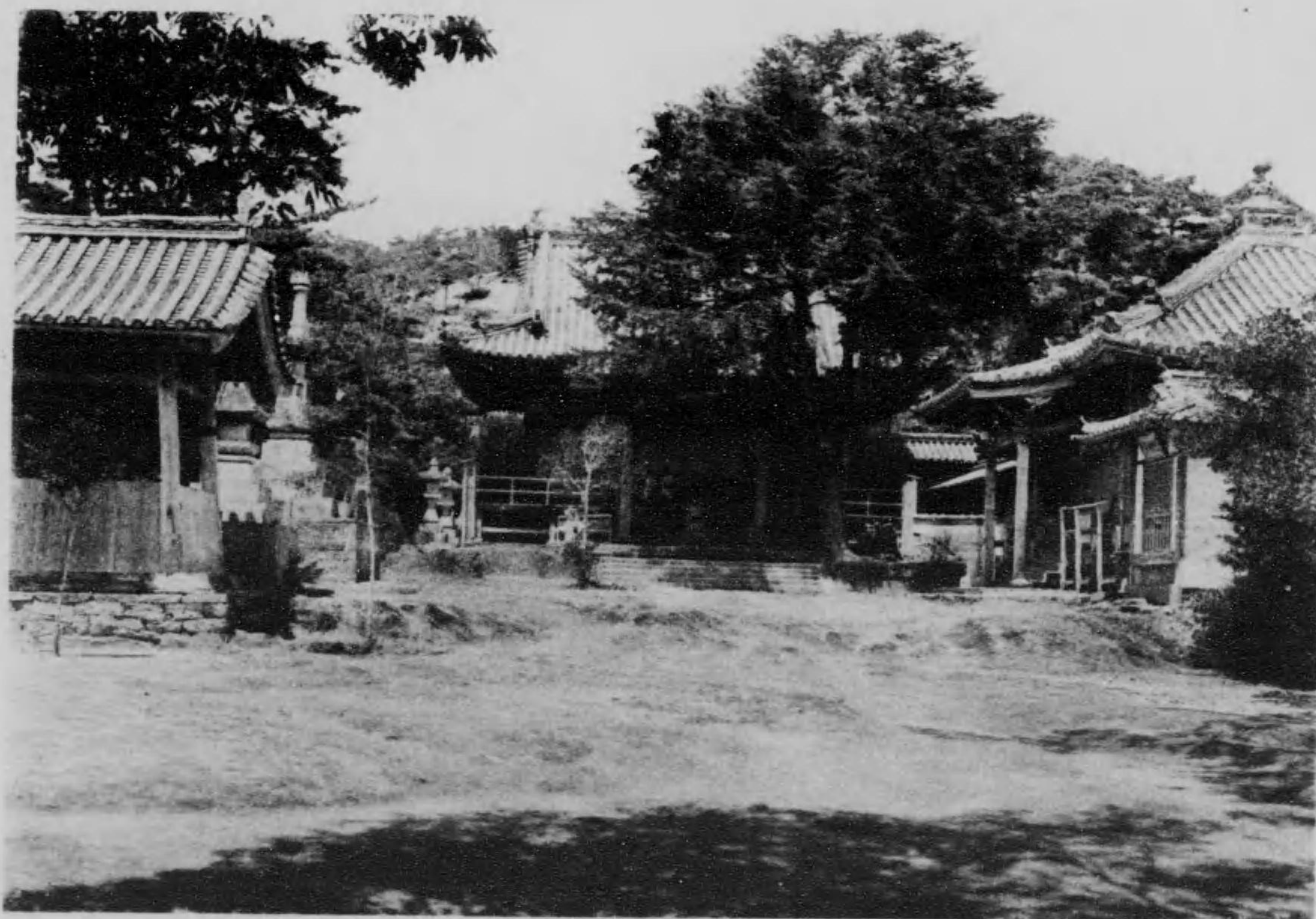


詠歌

本尊彌勒菩薩

(大師作)

常楽の岸にはいつかいたらん
ぐぜいの船ふ乗りおくれずは



寺樂常山壽盛(宗言真 派寺和) 番四十第

村府國郡同

(二宮局) 次へ八丁、田甫を過きて

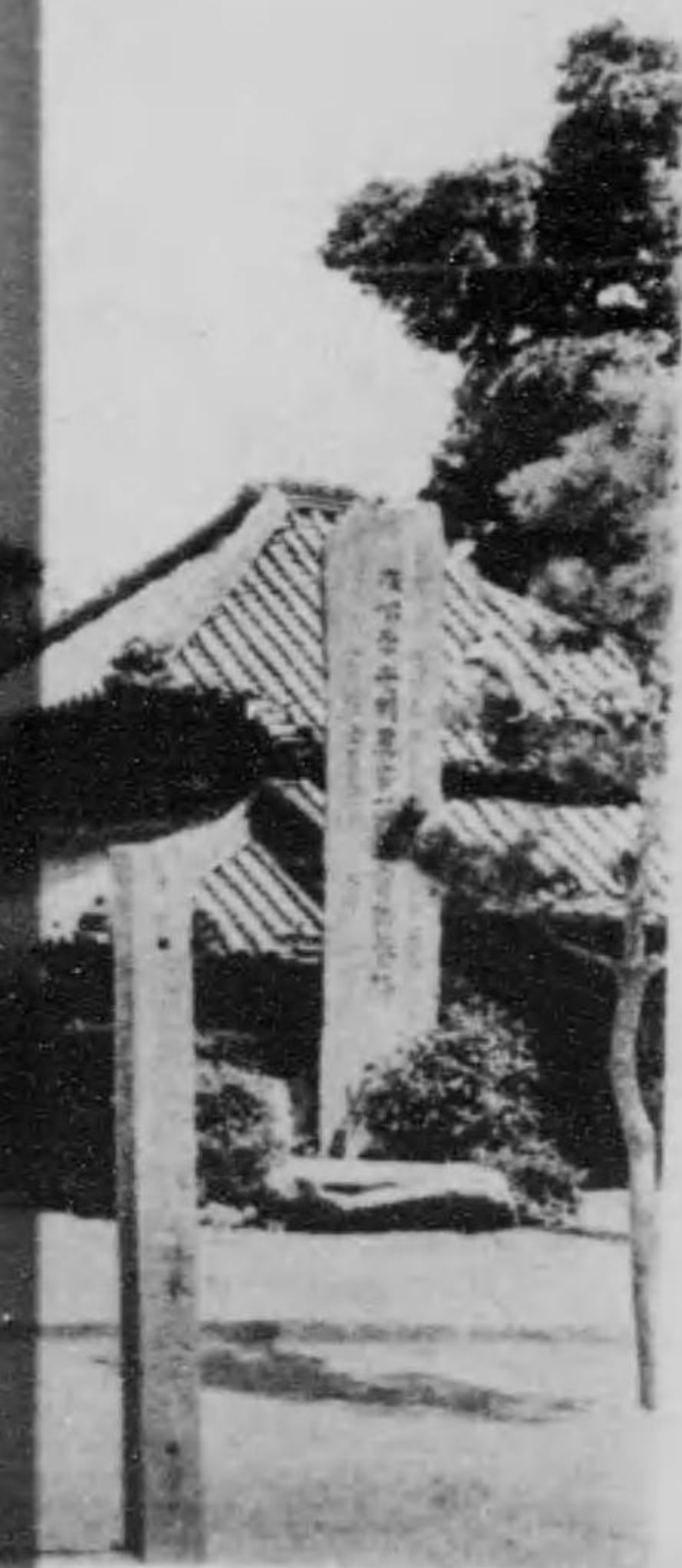
本尊藥師如來

(行基作)



詠歌

薄く濃くわけく、毛を深めぬれば
流轉生此の世の末もみぢば



五十第

(國府局) 聖武帝の勅願阿波の國分寺なり
 次へ十五丁



寺分國山養法 (宗洞曹) 番五十第
 村同 郡同



本尊藥師如來

(行基作)

詠
 落く濃くわけくをを深のぬれば
 流轉生此の終のもみぢは

(二宮局) 次へ八丁、田甫を過きて



寺樂

本尊 千手觀世音菩薩

(大師作)



詠歌

わまれずも導きたまへ観音
西方世界弥陀の洋土へ



第 十 六 番 (真言宗) 光耀山觀音寺

同 郡 同 村

(國分局) 次へ十八丁

本尊 藥師如來

(行基行)



詠歌

おんかけをうつゝを見れば井戸の水
むすべは胸のあかやおちなむ

第十

(國分局) 次へ十八丁



寺

本尊 藥師如來 (行基行)



誦 經

おんかけをうつしと見れば井戸の水
もよほは胸のあかやおちなむ



第七十番 (大興言旅) 瑠璃山妙照寺 (井戸寺)

同郡南井上村

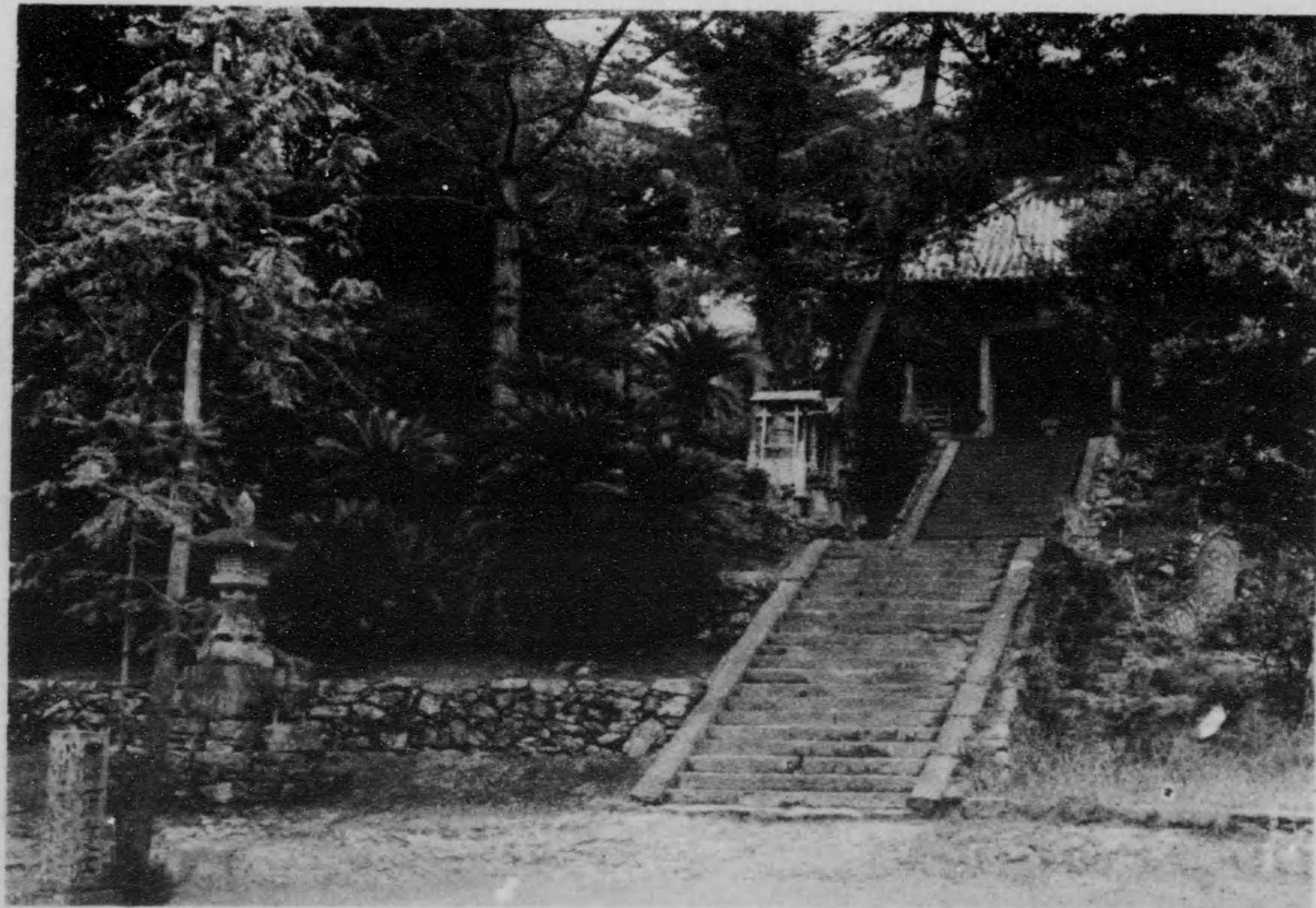
(國府局) 次へ四里、徳島市街を通り八丁の
小坂を上れば

本尊 藥師如來 (行基作)



詠歌

子と養のるその父母の恩も
訪らひがたきことはあらじな



(小松島局)次へ三十二丁、立江寺に近づきて石橋あり九ツ橋又は齋橋と云ふ名所なり

第 八 十 番 母 養 山 恩 山 寺 (真言宗 高野派)

勝浦郡小松島町

本尊 地藏菩薩 (大師作)



詠歌

いつかきて西のすまの我かたち
弘誓の初ふ来りていたちむ

(小松島局)次へ三十二丁、立江寺に近づきて石橋あり九ツ橋又は瀧橋と云ふ名所なり



寺

本尊 地藏菩薩 (大師作)



誦

いつかきて西のすまの我がたちを

弘誓の弘ふ来りていたちむ



寺江立山池橋(宗真)番九十第

町江立郡賀那

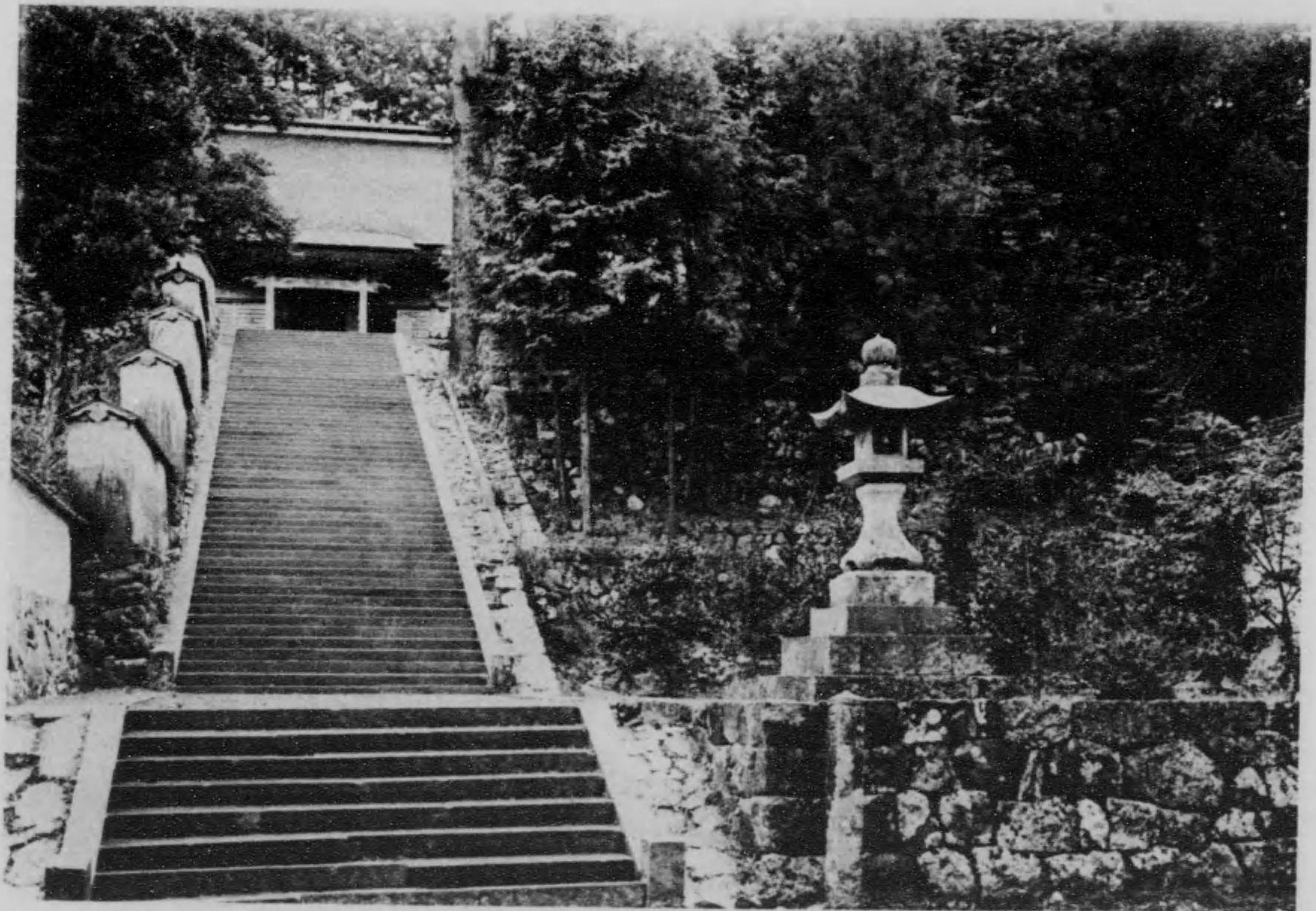
(立江局)俗に立江は關所なりと云ふ靈驗日に新なり次へ三里なり、
 奥院星取寺、那賀川に沿ふて上流に立石あり鶴林寺の奥院は同郡高
 針村慈眼寺灌順龍及禪定窟の洞穴あり横瀧まで戻りて一里の内十八
 丁險阪を上る

本尊 勝軍地藏尊 (大師作)



誦歌

しげりつる樹の林をしるふて
大師をるます地蔵帝釋



(沼江局) 當寺は毎夜開扉通夜の人多し次へ四十四丁、先つ十八丁下りて那賀川の渡船、二十六丁坂なし

第 十二 番 (真高 吉野 宗派) 靈鷲山鶴林寺

勝浦郡生比奈村

本尊 虚空藏菩薩 (大師作)



誦歌

大龍の常ふすむそやげにいわや
しやらん開拵は守身護のためあり



(沼江局) 當寺は毎夜開扉通夜の人多し次へ四十四丁、先つ十八丁下りて那賀川の渡船、二十六丁坂坂なし



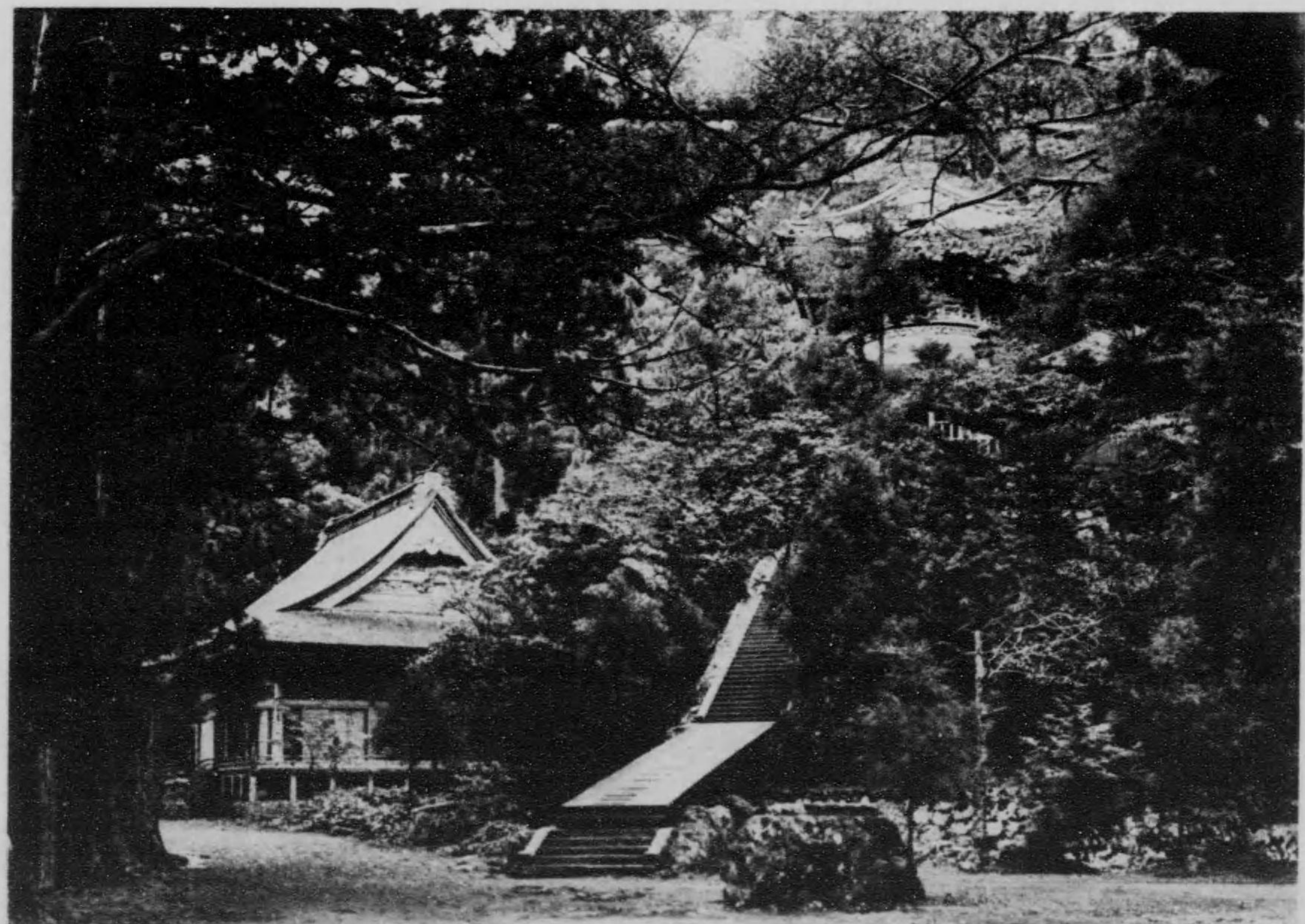
寺林

本尊 虚空藏菩薩 (大師作)



祓袂

大龍の常ふすむそやげにいあや
しやーん開拵は守身護のためあり



寺龍大山心舎(真言宗 高野派) 番一十二第

村谷茂加郡賀那

(和喰局) 當山は神武天皇登山の縁起あり大師十五歳の時求聞持御修行また延暦十一年にも登嶺廿五歳の時桓武帝の勅奉し大伽藍建立の巨刹なり寶物多く秘藏せらる、次へ四里、山腹に龍の窟あり奇蹟なり、阿瀬比村山越に行けは



誦
教

本尊藥師如來

(大師開基)

平等にたてのなまを聞く時は
あつたのもしき佛とを覺る



寺等平山白水(宗言真 派野高)番二十二第

村野新郡賀那

(新町局)奥院鉦打村一里余世に七不思議と云ふ、次へ二百五十丁、
廿丁月夜庵より小山を越せば新道日和佐町、肺大師鏡泉あり

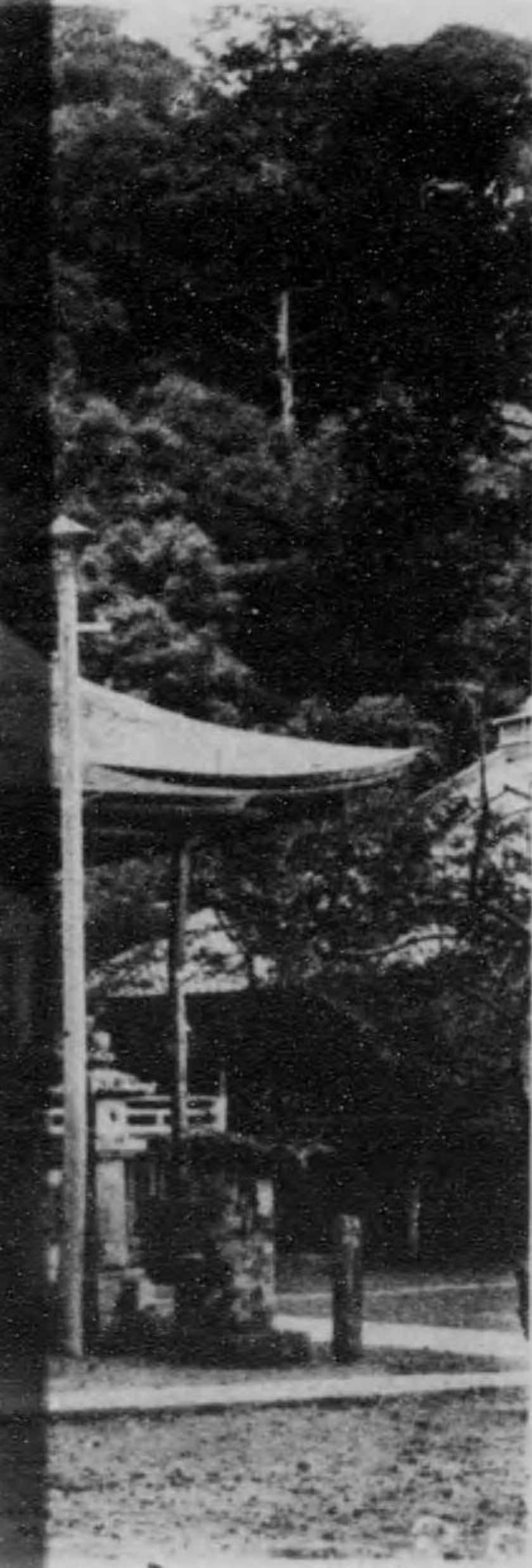


誦
教

本尊藥師如來

(大師作)

皆人の病みぬる事のやく玉守
瑠璃のくすりをも典(あ)りませ



三十二第



(新町局)奥院鉦打村一里余世に七不思議と云ふ、次へ二百五十丁、
廿丁月夜庵より小山を越せば新道日和佐町、肺大師鏡泉あり

寺

本尊薬師如來

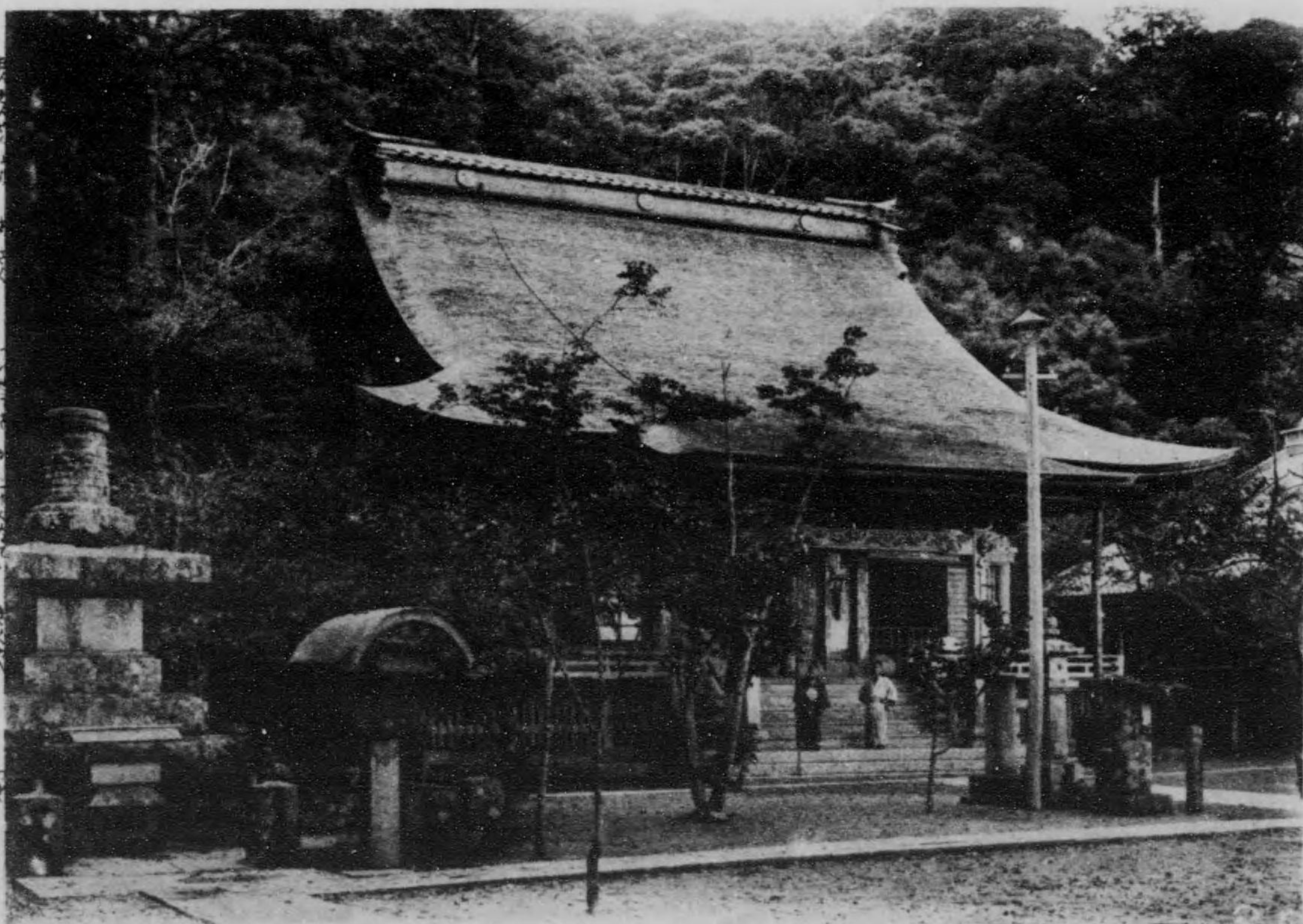
(大師作)



詠歌

皆人の病みぬまのやく王を

彌陀のくすりをも與へりまは



第 三 十 二 番 (真言宗) 醫王山薬王寺

海部郡日和佐町

(日和佐局)本尊厄除の御作にて平城岨岨淳和帝の祈願あり、次へ二十一里、
日和佐より四里新道牟岐村、八阪八濱の名所、鮎瀬に鮎大師あり、浅川より
新道開けたり、八阪は大坂、松坂、福良坂、鮎瀬坂、菽坂、鍛冶屋坂、粟
浦坂、借戸坂、八濱とは内妻濱、古江濱、福良濱、鮎瀬濱、大網濱、鍛冶
屋濱、走濱、三浦濱にして海や山の風景佳境なり、四方原村大師堂、穴喰
村まで新道通したり是より甲の浦土佐國に入る。

本尊 虚空藏菩薩 (大師作)



神歌

乃星の出てぬるこの東も
くろき迷はなとかあらまし



第 四 十 二 番 (新 義 真 言 宗) 室 戸 山 最 御 崎 寺 (東 寺)

高 知 縣 安 藝 郡 室 戸 町

(室戸局) 是より津寺へ一里十丁なり八丁坂を下り大師求聞持修行の
靈地にして南海隨一の法窟なり、十五町津呂村三十丁津寺に至る宿
あり。

本尊 地藏菩薩 (大師作)



詠歌

法の舟入るが出るが是の津も
米ふ杖身と乗せてたまや

(室戸局) 此より西寺へ廿六町なり十八町の立石より右に舊道四丁



第 五 十 二 番 (宗 同) 寶 珠 山 津 照 寺 (津 寺) 同 郡 同 町



詠歌

本尊地藏菩薩 (大師作)

法の舟入るが出るが是の津より
米ふ杖身と乗せてなまや

(室戸局) 是より津寺へ一里十丁なり八丁坂を下り大師求聞持修行の
靈地にして南海隨一の法窟なり、十五町津呂村三十丁津寺に至る宿
あり。



(寺東)

本尊 藥師如來 (大師作)



誦教

往生にのまをかくる極楽は
月の傍々西寺のそり



第 二 十 六 番 (宗同) 龍頭山金山剛頂寺西寺
同 郡 同 村

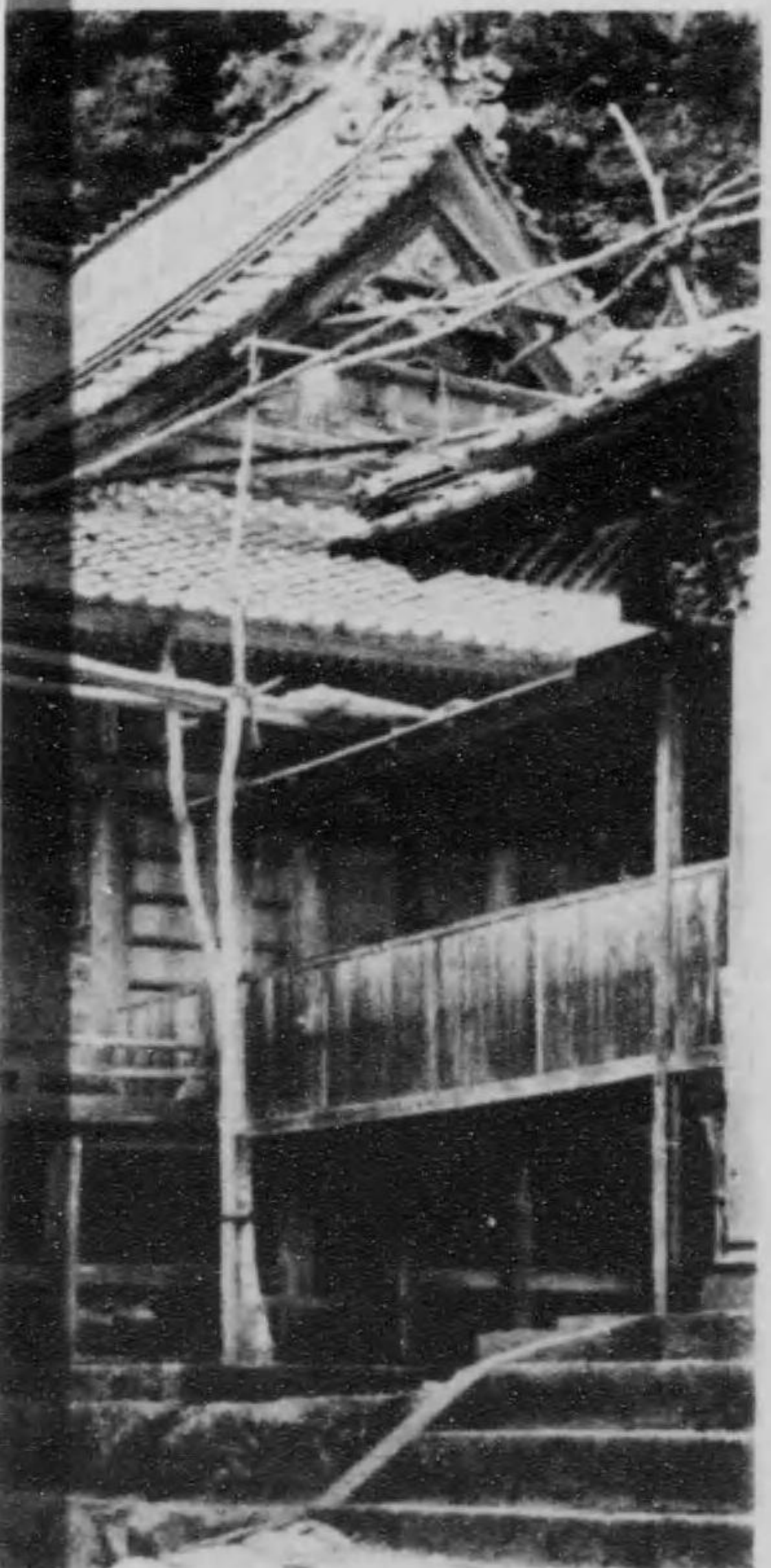
(室戸局)神の峰へ七里なり黒見より新道、吉良川、羽根、加領郷、
奈半利、田野、安田より西北へ八町逢神より山坂三十二町なれば用
意すべし

本尊 十一面觀世音菩薩 (行基作)



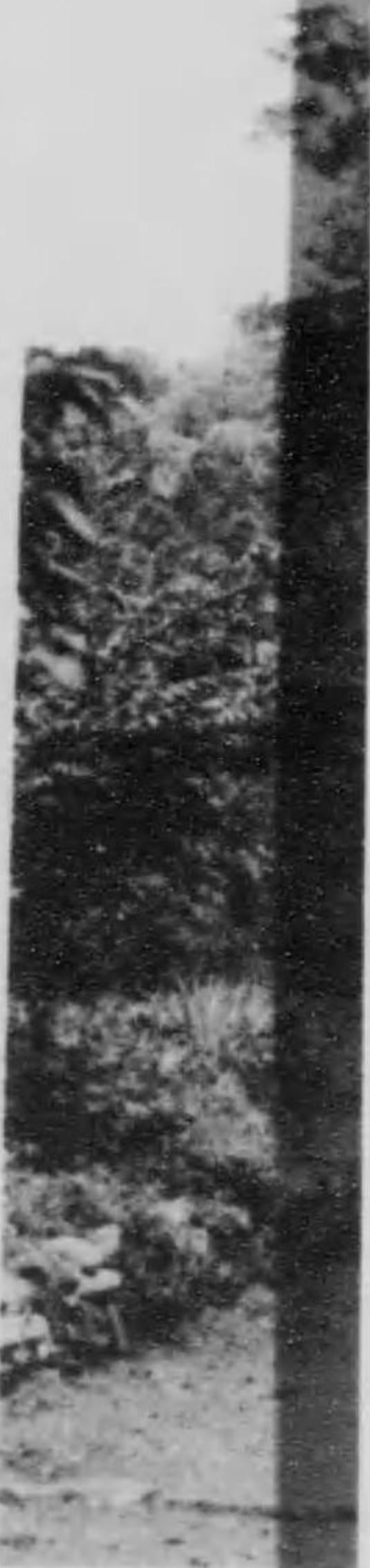
誦教

み佛のちかいのころ神の峰
やいはの地獄たといありとも



第 二 十 七 番

(室戸局)神の峰へ七里なり黒見より新道、吉良川、羽根、加領郷、奈半利、田野、安田より西北へ八町逢神より山坂三十二町左れば用意すべし



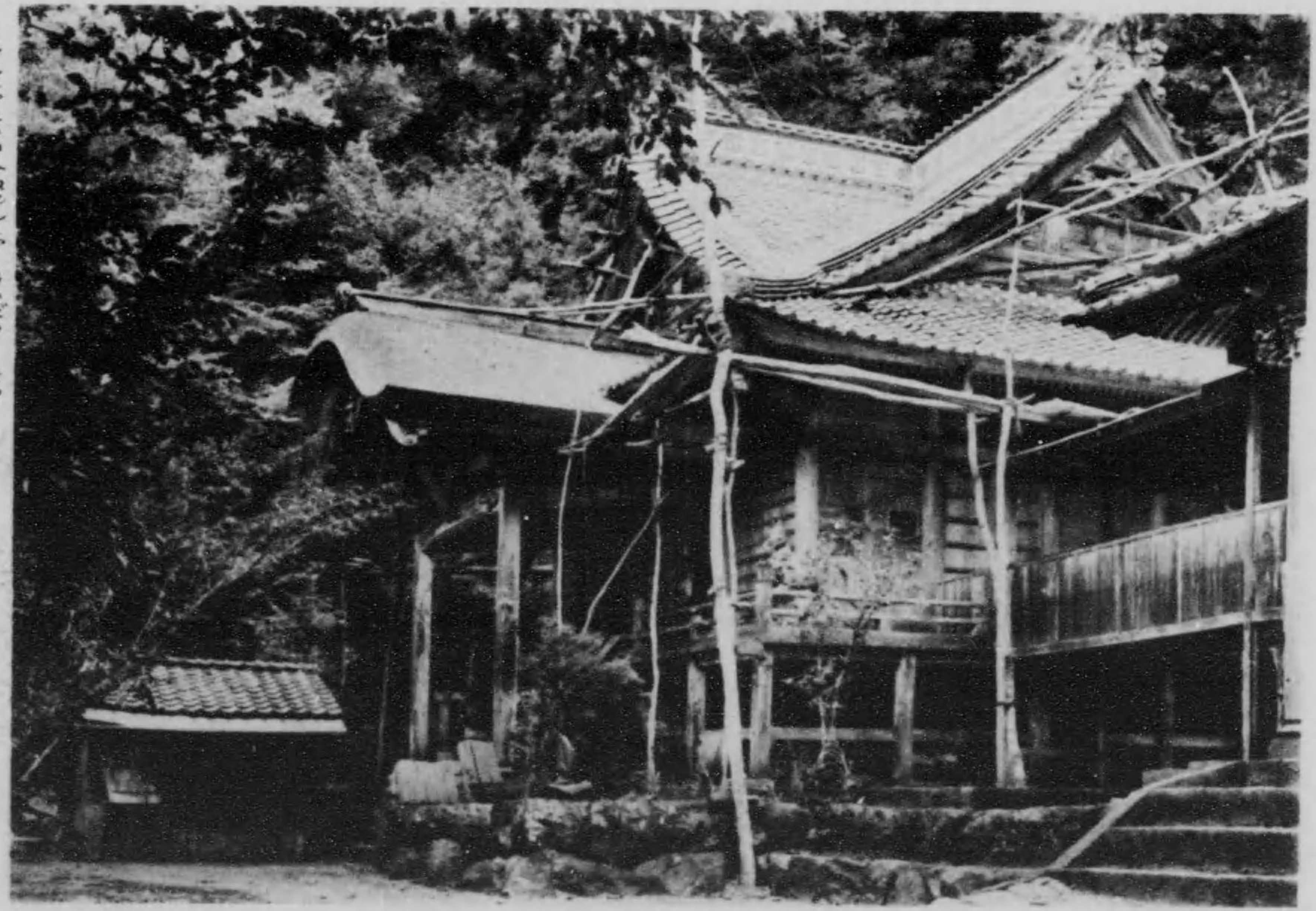
寺西

本尊 十一面觀世音菩薩 (行基作)



詠歌

み佛のちかいのころ神の宮
やいはの地獄たといのりこも



第 二 十 七 番 (宗 同) 竹 林 山 地 藏 院 (神 峰 寺)

同 郡 安 田 村

(安田局)縣社神峰神社は境内に接す
大日寺八里也三十町打戻り新道伊尾木、安藝町、穴内、赤野、和
喰、馳寄、夜須、岸本、赤岡宿皆あり、野市より二十二町

本尊 大日如來 (行基行)



祇教

雲しもとつみを照せる大日る

たもどか歩みとはこぼさるまし



寺日大山界法(宗言真義新)番八十二第

村古佐郡美香

(野市局) 國分寺へ一里半母代寺、西野、父養寺、物部川、京田、松本、
長久保、西山、野地、東崎、萬ヶ淵宿あり國府橋、

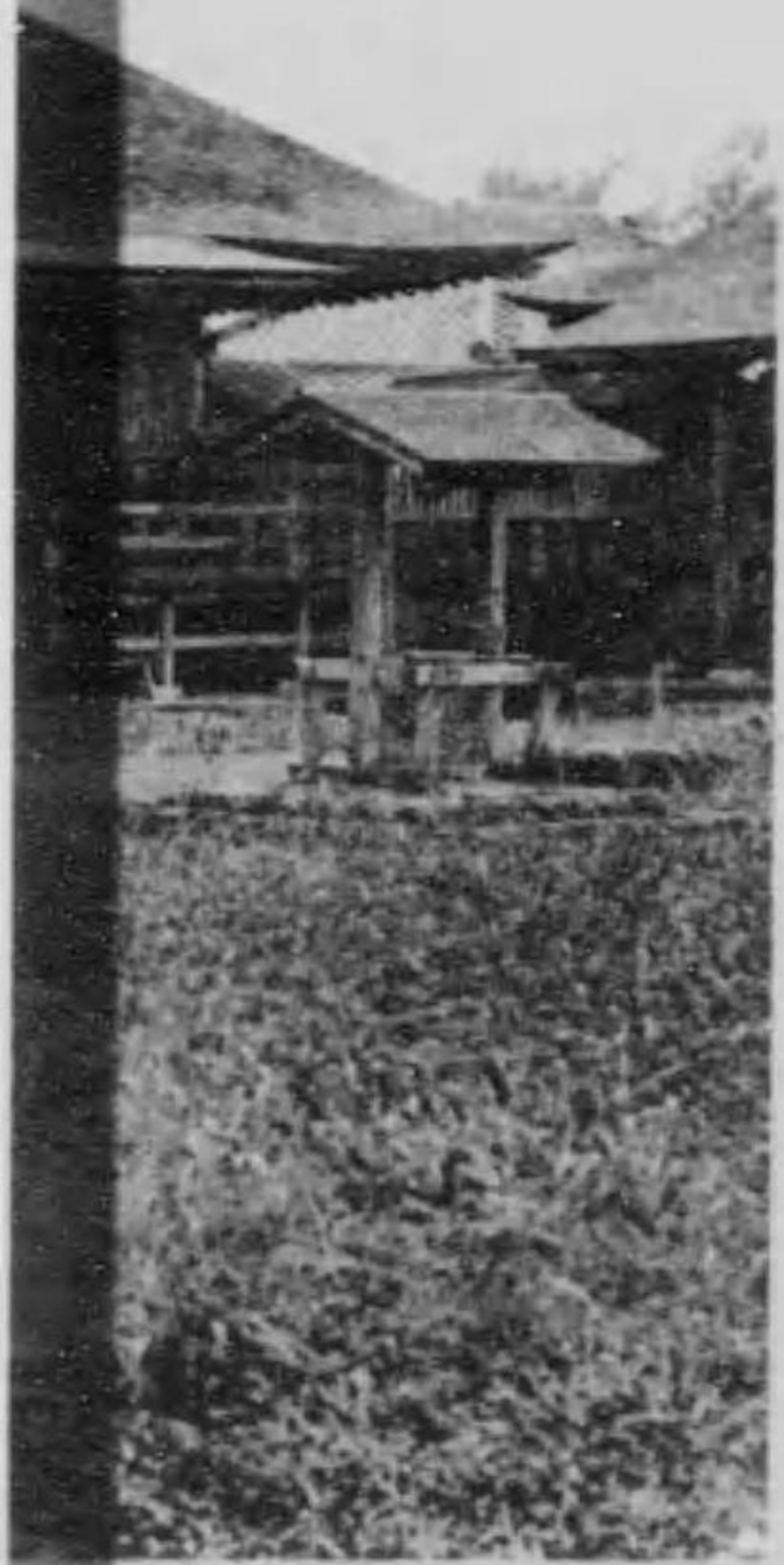
本尊 千手觀世音菩薩 (行基作)



祇教

國と分けたらりをつみてたつもの

すのせまでの利を益のこせり



(野市局) 國分寺へ一里半母代寺、西野、父養寺、物部川、京田、松本、
 長久保、西山、野地、東崎、萬ヶ淵宿あり國府橋、



寺

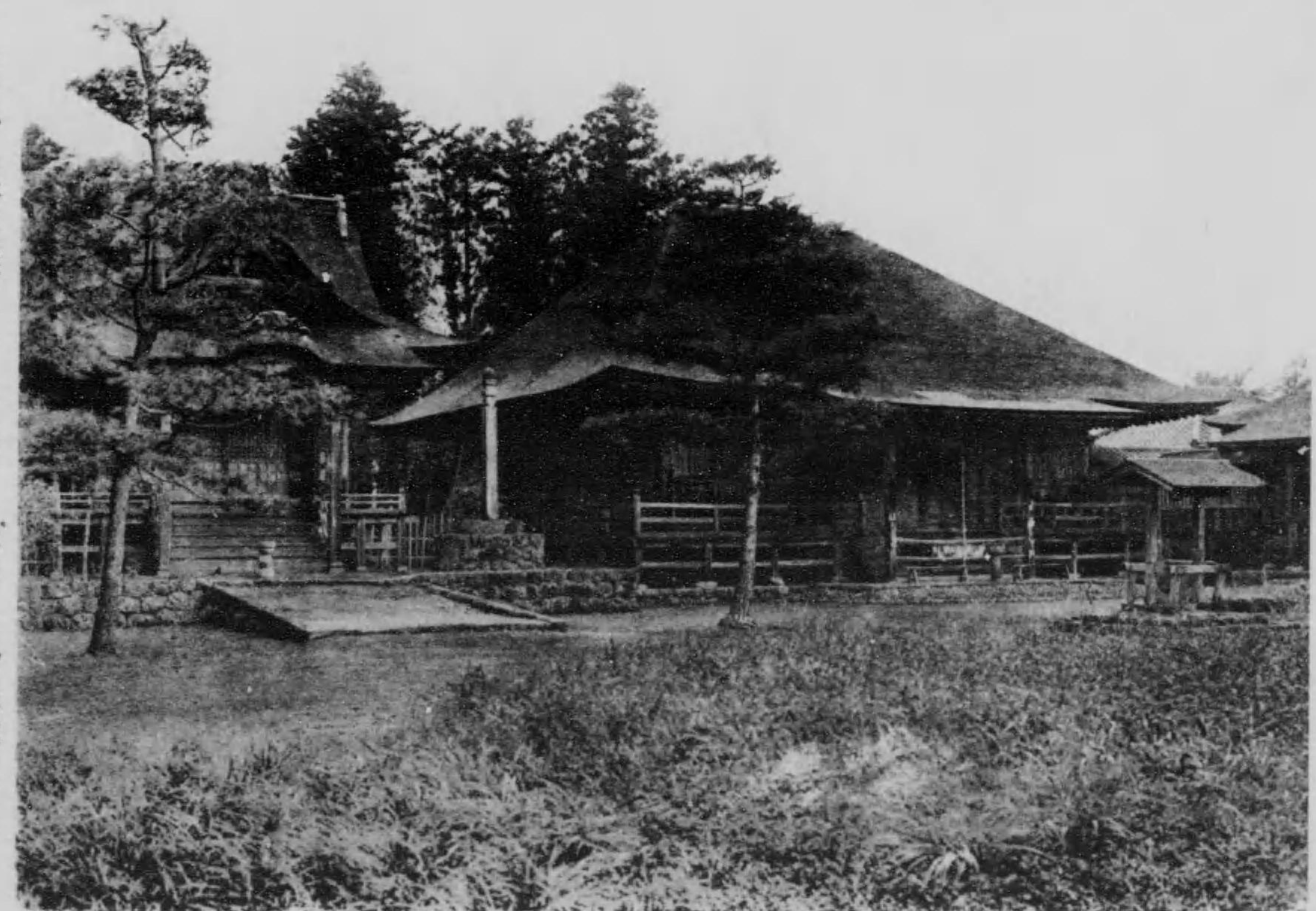
本尊 千手觀世音菩薩 (行基作)



祇園

國と分けたありとつみてたつもの

すはの世までの利益のこせり



(植野局) 當山の本堂特別建造物國寶なり梵鐘は天平年間鑄造なれ
 は稀代の古物なり次の安樂寺へ三里也笠の川、八幡より新道西へ岡
 豊、龍本、逢阪、一宮國幣中社土佐神社あり比島橋を渡り江ノ口町
 に入る

寺分國山尼摩(宗同)番九十二第

村府國郡岡長

本尊 阿彌陀如來 (國寶)



詠歌

人多く立ちあつまれる一の宮
むかひもいあさかぬるかな



寺樂安山々々百も (宗言真教新) 番十三第
淑山豊

町口ノ江市知高

(高知局) 當寺境外に薰的和尚の廟あり、是より五台山へ一里八町也
市内中島町高野寺を二經て 狐詰橋 農入町、青柳橋を起へ五台山公園
に至る

本尊 文珠菩薩 (行基作) (國寶)



詠歌

南無文珠三世諸佛の母と関く
あれも子こゝろ乳こそほりけれ



十三第

(高知局)當寺境外に薰的和尚の廟あり、是より五台山へ一里八町也
 市内中島町高野寺を二經て砥詰橋、農人町、青柳橋を起へ五台山公園
 に至る



寺樂

本尊 文珠菩薩 (行基作) (國寶)



詠歌

南無文珠三世諸佛の母と聞く
 あれも子こゝろ乳こそほりけれ



寺林竹山台五 (新美真言宗) 番一十三第

村山台五郡岡長

(高知局)本堂特別保護建造物なり、當山には國寶の佛跡多く五峯の
 高く聳へたる支那の五台山に似たり、次の峯寺へ一里半山を下り吹
 井橋より蘆ヶ谷、十市村、八丁登りて



源款

本尊 十一面觀世音菩薩 (行基行)

群なる我がみなもとの禪師尊も
淳ふこころは法のはやぶね



(前濱局) 當山の仁王尊は國寶なり次の雪溪寺へ一里半阿戸、三里村
仁井田、種崎の瘦松皆宿あり

第三十三番 (新真宗) 八葉山禪師峰寺 (峯寺)

長岡郡十市村

本尊 藥師如來 (大師作)



源款

旅の道うても今は鳥福も
のちのたのみ有ぬの月



第十三第



(寺峯)寺

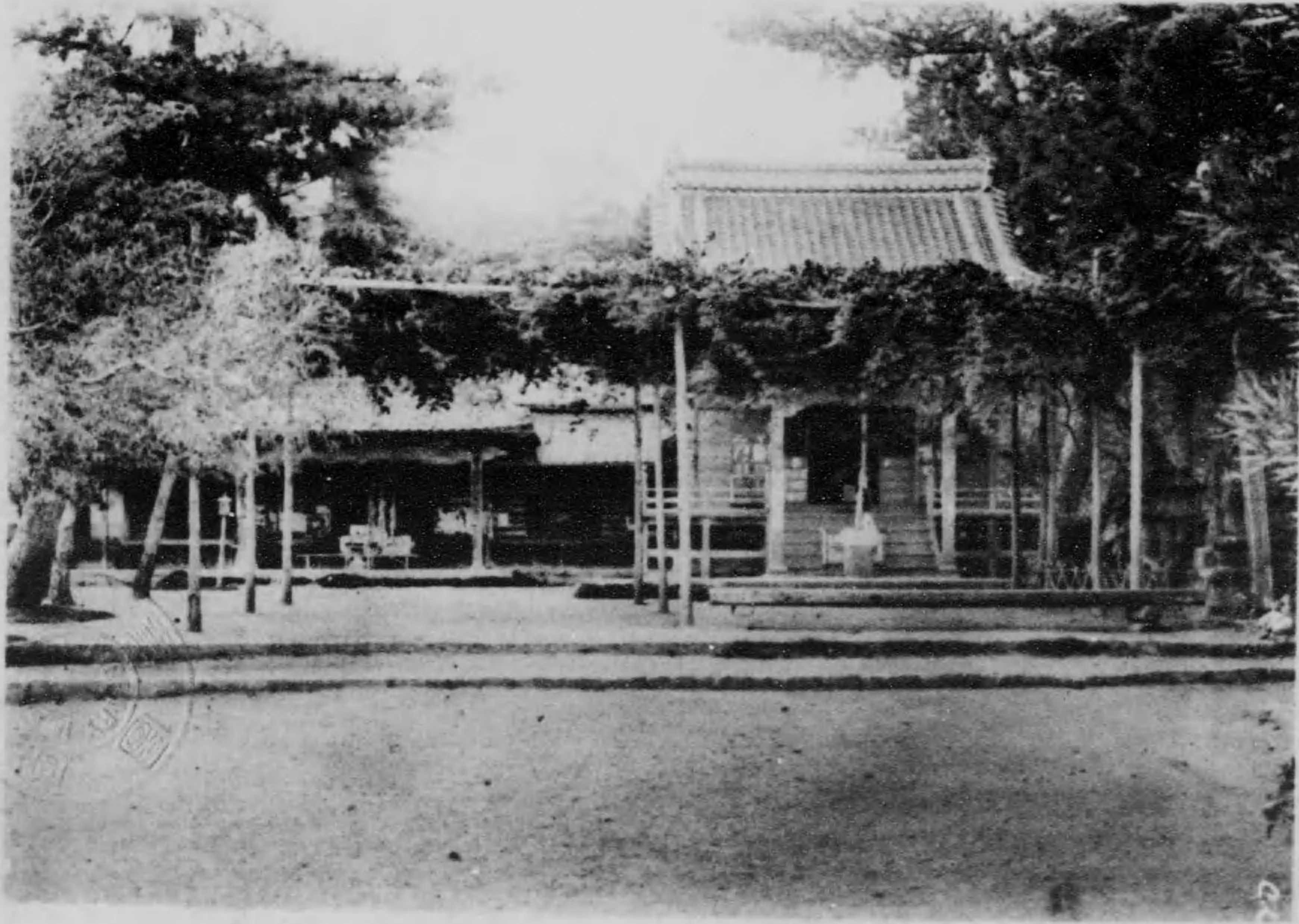
(前濱局)當山の仁王尊は國寶なり次の雲溪寺へ一里半阿戸、三里村
仁井田、種崎の渡松皆宿あり

本尊 藥師如來 (大師作)



謝款

旅の道うても今は高福も
のちのたのしみ有ぬの月



寺溪雪山福高 (宗濟臨) 番三十三第

町濱長郡川吾

(長濱局)國寶佛頗る多し境南天補山に長曾我部元親の墓あり、種間
寺へ二里西へ川にそい切抜き、東西諸木、秋山川を渡りて西へ往く
宿あり

本尊藥師如來 (國寶)



誦歎

世の中にまける五穀の種間も
深き水素の大慈なりけり



(新川局) 次の清瀧寺へ二里なり、西へ森山村、新川町、新淀川を渡り高石、高岡町宿あり

第 三 十 四 番 (新 義 真 言 宗) 本 尾 山 種 間 寺

同 郡 秋 山 村

本尊藥師如來 (行基作)

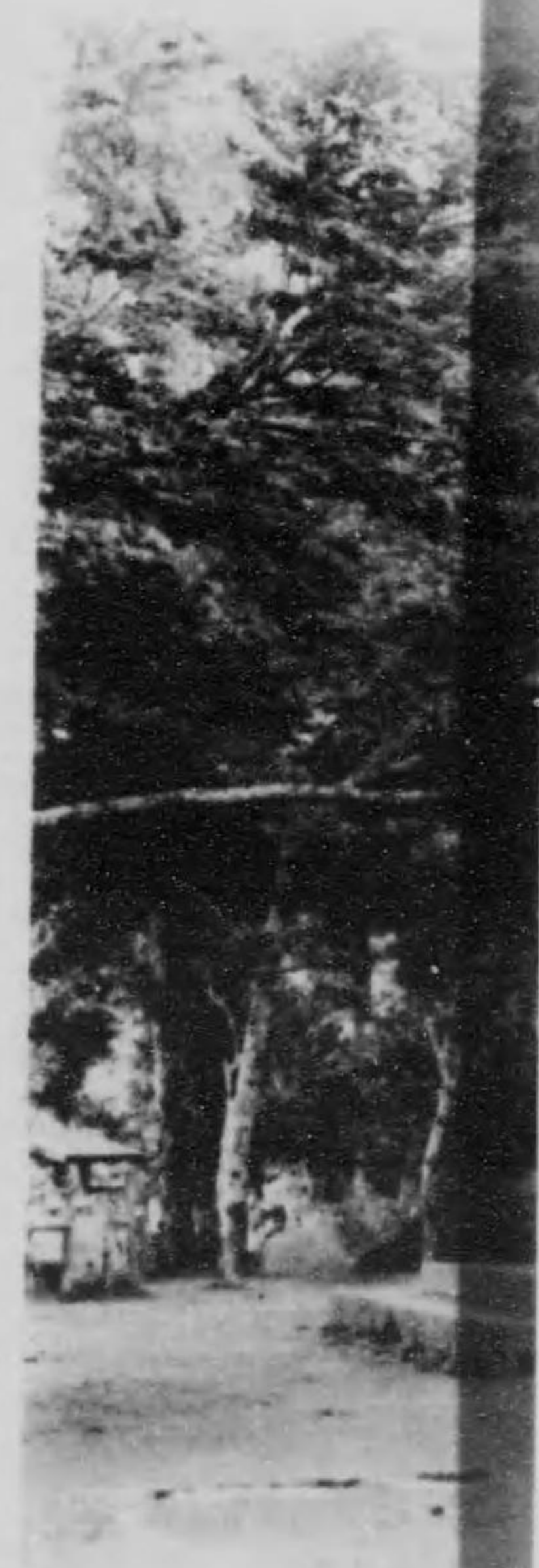


誦歎

渾む水を汲むは心の清瀧也
波のた散る器の羽ころも



(新川局) 次の清瀧寺へ二里なり、西へ森山村、新川町、新淀川を渡り高石、高岡町宿あり



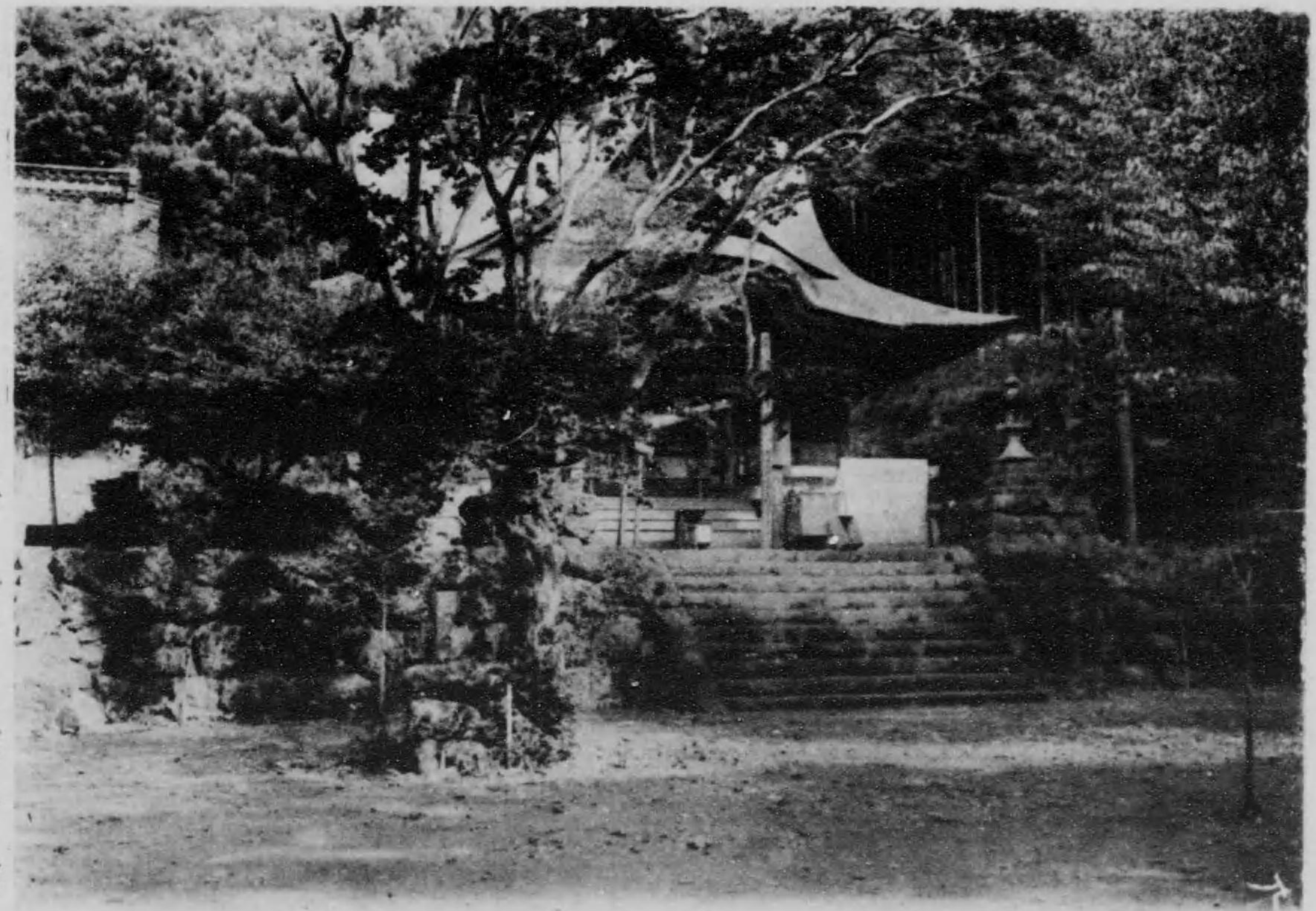
寺間

本尊薬師如来 (行基作)



源教

源も水を汲むは心の清瀧也
波のた散る思う羽ころも



(高岡局) 青龍寺へ二里半也二十七町打戻りて萩崎、宇佐村、井の尻龍坂を起ゆれば

寺瀧清山王醫 (宗同) 番五十三第
町岡高郡岡高

本尊 波切不動明王 (大師作)



詠歌

わづかなる泉ふ旋めり青龍は
佛法守護のちかいとそ聞く



寺龍青山胡獨(宗同) 番六十三第
村佐宇郡同

(宇佐局) 次の岩本寺へ十三里なり廿五町井の尻に打戻り福島、有名なる八坂八濱を通り深浦、横浪宿あり奥内、佛ヶ峠、大間を経て須崎町に入る、但し八坂八濱は船便もあり、須崎より久禮、宿あり道路大坂谷、名の子坂、影生、下吳地、六反地、柿木山、仁井田(宿)手前、大奈路を経て窪川町に達す

本尊 阿彌陀如來



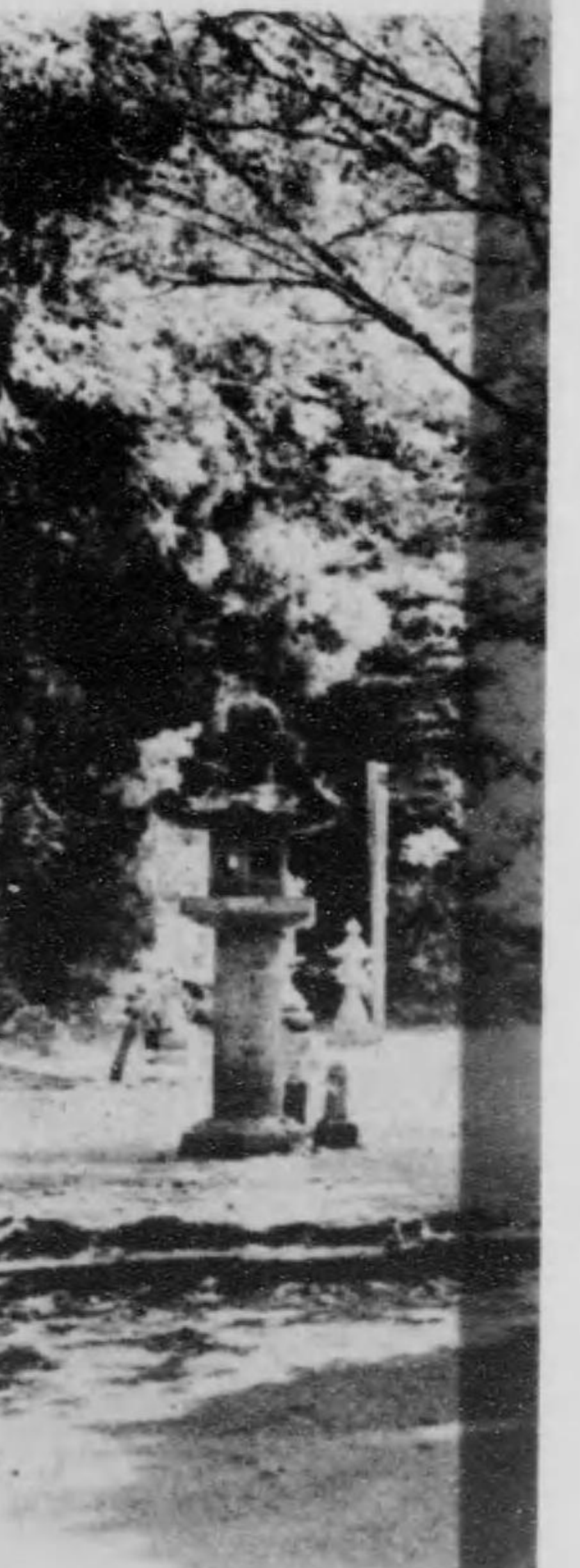
詠歌

六つのちり五つや一ちあらはし
ふかき仁井田の神りたのーみ



十三第

(宇佐局) 次の岩本寺へ十三里なり廿五町井の尻に打戻り福島、有各なる八坂八濱を通り深瀬、横浪宿あり奥内、佛ヶ峠、大間を経て須崎町に入る、但し八坂八濱は船便もあり、須崎より久禮、宿あり道路大坂谷、名の子坂、影生、下吳地、六反地、柿木山、仁井田(宿)平串、大奈路を経て窪川町に達す



青龍寺

本尊 阿彌陀如來



謝款

六つめちり五つやーろあらはーて
ふかまに井田の神りたのーみ



第 三 十 七 番 (真智宗 新山派) 藤井山岩本寺

同 郡 窪 川 町

(窪川局) 往古は縣社仁井田の高岡神社の別當なりき次の足摺山へ二十一里の長途なり、金上野 峰の上、佐賀谷三里、市の瀬、樂の川、稻荷より熊井阪とんねる(六十間)を
通り佐賀村茲より窪津まで渡船あり春本割引す、伊田、上川口、浮觀、入野、小阪、
竹崎、四万十川を渡り津久良淵より伊豆田阪を越へ一の瀬真念庵是より足摺山迄
七里打戻り、下の加江、伊布利(宿)窪津、赤雄を経て

本尊 千手觀世音菩薩 (大師作)



御歟

ふだらくやてはみさの舟り棹
 ころもすつものりのさたやま



(清水局) 當山に名所數多あり殊に附近の龍串は土佐第一の絶勝なり
 次の延光寺へ十三里なり月山に掛けて龍串に至るは難所なり、一の
 瀬真念庵迄打戻りて五味川(宿)三原、東中筋(宿)より

寺福剛金山陀蹉(新教宗)番八十三第

村松清郡多幡

本尊 藥師如來 (行基作)



御歟

南無薬師満愿除の疾なれば
 まいる疾が身をたもたまよ



(清水局)當山に名所數多あり殊に附近の龍串は土佐第一の絶勝なり
 次の延光寺へ十二里なり月山に掛けて龍串に至るは難所なり、一の
 瀬真念庵迄打戻りて五味川(宿)三原、東中筋(宿)より



寺

本尊 藥師如來 (行基作)



御坂

南無大師遍滿悲愍の光をれば
 まいり成が身をたもたまよ



寺光延 (宗派 新義真言山) 山寺 (宗派 新義真言山) 番九十三第

村田平郡同

(有田局)次の四十番觀自在寺へ新道九里なり十二町打戻り新道宿毛
 町(宿)片島より伊豫の深浦に漁船便あり是れ札所へ尤も近し、松尾
 坂の峠は土佐伊豫の國境なり之より五里伊豫南宇和郡小山村一本松
 弘見、城邊町(宿)に至る

本尊 藥師如來 (大師作)



詠歌

しんぐあんや自在の喜ぶ花咲て
 浮世のかれてすむやけたもの



寺在自觀山城平 (宗真) 番十四第

村莊御郡和宇南縣媛愛

(平城島) 次へ十二里、海路は深浦港へ一里流船にて宇和嶋に往く春
 期遍路に割引あり、陸路の頃は三里にて柏坂峠は峻険なれば難義
 なり又た松尾坂峠あり、宇和島町に入る、丸穂町龍光院は奥の院な
 り附近に和皇神社あり、是處より船荷へ乗車賃割引あり

本尊 十一面觀世音菩薩



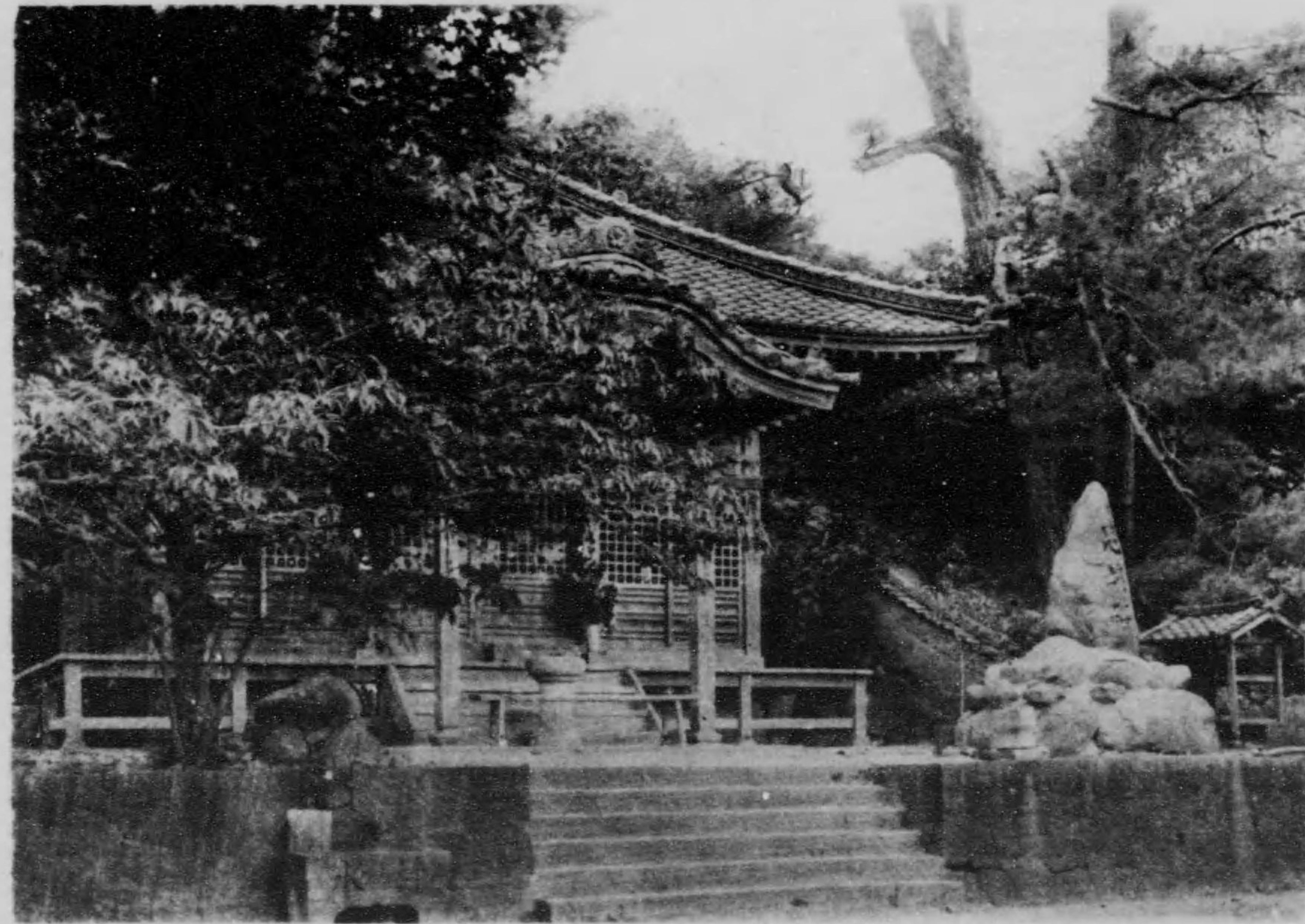
詠歌

此神は三國流布の密教を
 守らせ給ふ誓を聞く



四第

(宮ノ下局)境内鎮守あり、次へ廿五丁



寺光龍山荷稻 (真言宗御室派) 番一十四第

村妙成郡和宇北



本尊十一面觀世音菩薩

此神は三國流布の密教より
守らせ路ふ程をとを閑く

(平城局)次へ十二里、海路は深浦港へ一里流船にて宇和嶋に往く春
期遍路に割引あり、陸路の順は三里にて柏坂峠は峻阻なれば難義
なり又た松尾坂峠あり、宇和島町に入る、丸穂町龍光院は奥の院な
り附近に和霊神社あり、是處より稻荷へ深車賃割引あり



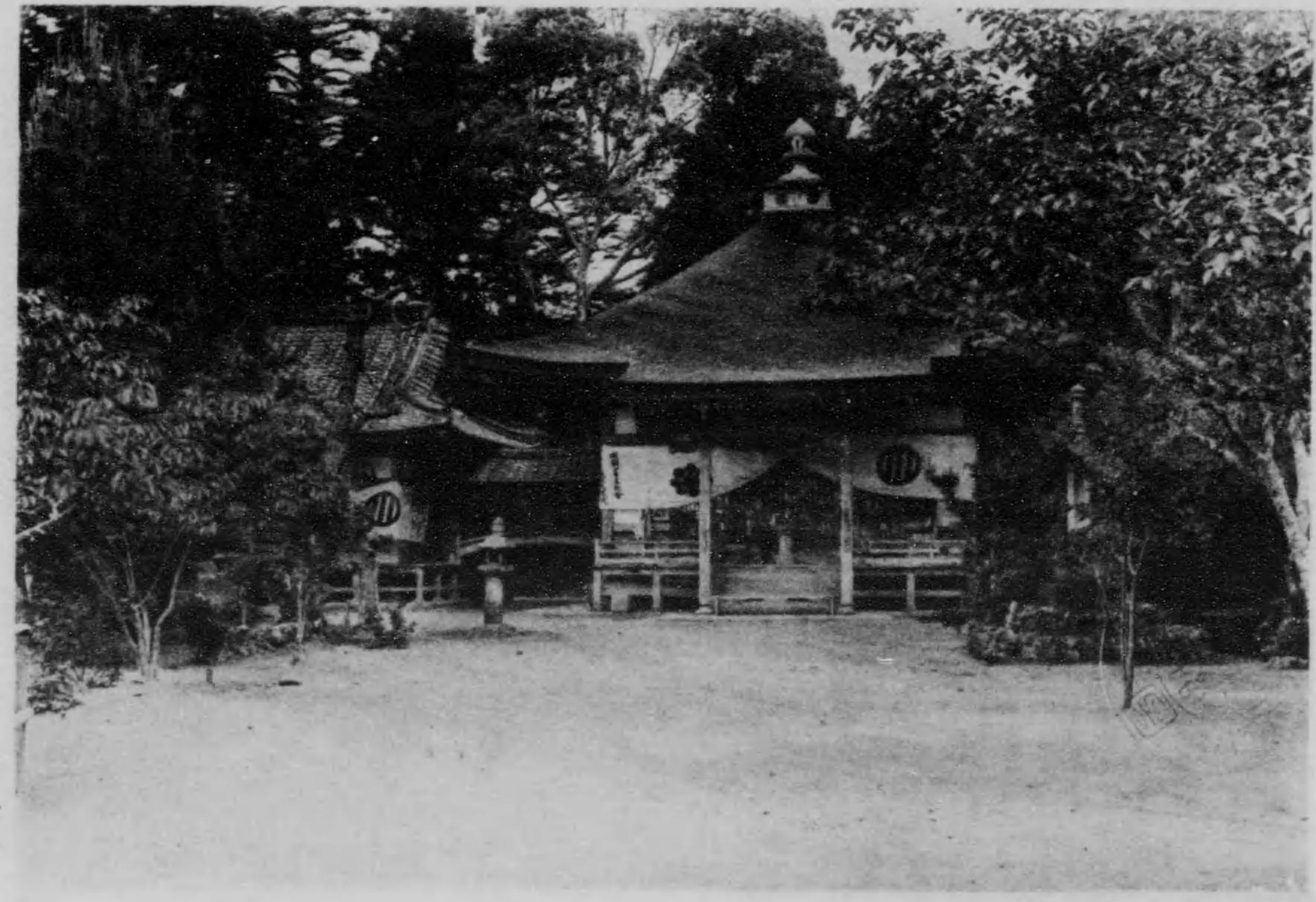
寺在白

本尊 大日如來 (大師作)



誦歌

草も木も佛ふなれも佛よも
なほたのもしき鬼畜人天



(宮ノ下局) 一理の寶珠楠樹に止りたる枯木あり次へ三里、齒長坂を越へ新道を行く

寺木佛山環の一 (真言宗御室派) 番二十四第

村同郡同

本尊 千手觀世音菩薩 (役小角開基)



誦歌

閑くならく千手のちかひ不思議には
大盤石もかりくあげいし

第

(宮ノ下局)一理の實珠楠樹に止りたる枯木あり次へ三里、齒長坂を越へ新道を行く



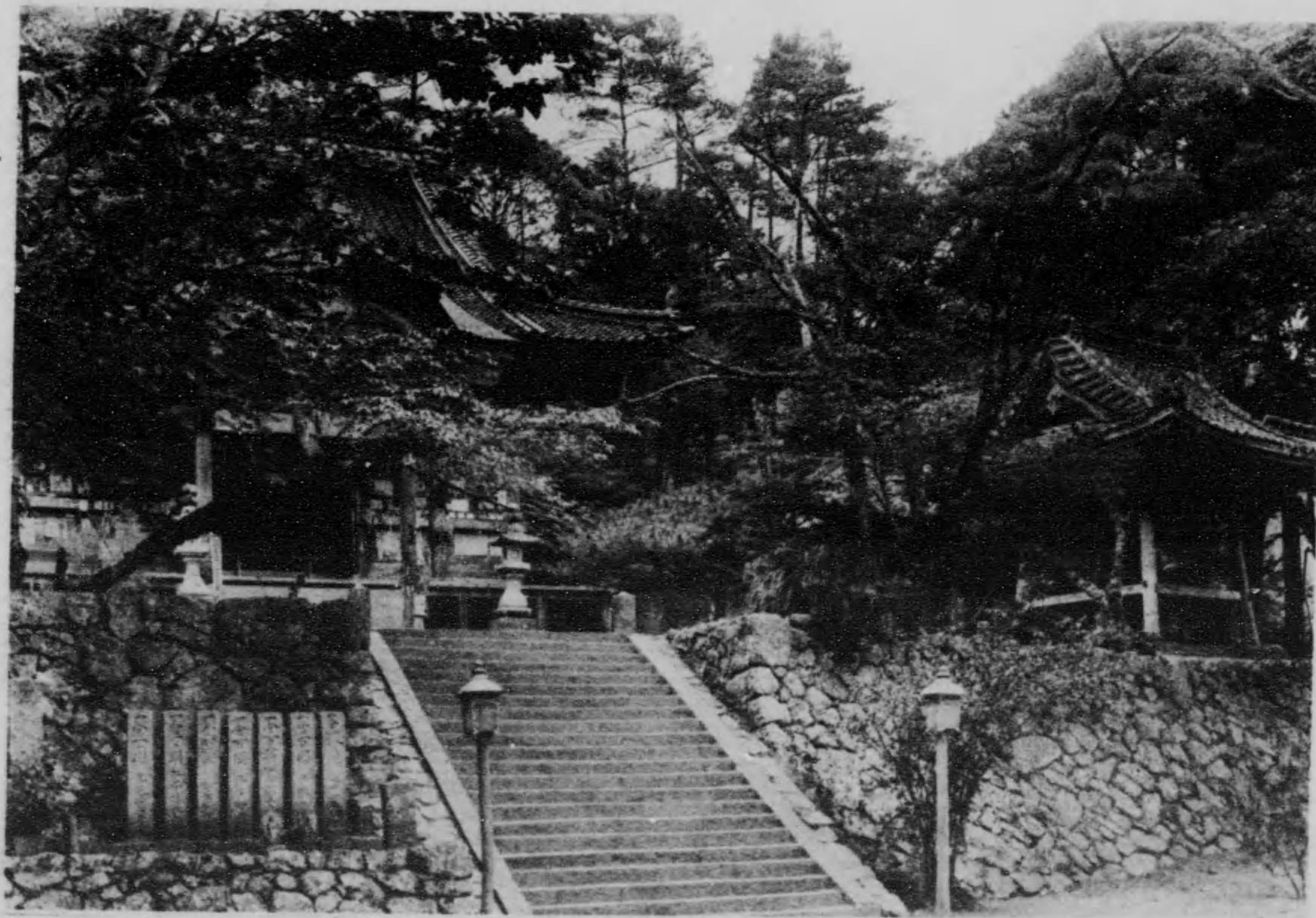
寺木

本尊 千手觀世音菩薩 (役小角開基)



誦歌

閑くならく千手のちかひ不思議には
大盤石もかりくあげいし



寺石明山光源 (天台宗) 番三十四第

村筋之田郡和宇東

(卯之町局)白王權現のあげ石、時雨櫻あり次へ二十一里と云ふも大洲領は五十丁一里につき實際は二十四五里あり、外の町國道、南條村鳥坂、野佐來、札懸より國道大洲町、肱川を渡り十夜が橋永徳寺通夜堂あり、是より三里内の子町(馬車)二里大瀬村の長溪なり田渡村 久万町に至る



本尊 十面觀世音菩薩

詠歌

今世は大悲のめぐみ宿る山
ついに孫陀のちかさを待つ



寺寶大山生管(宗言真教新)番四十四第

村生管郡穴浮上

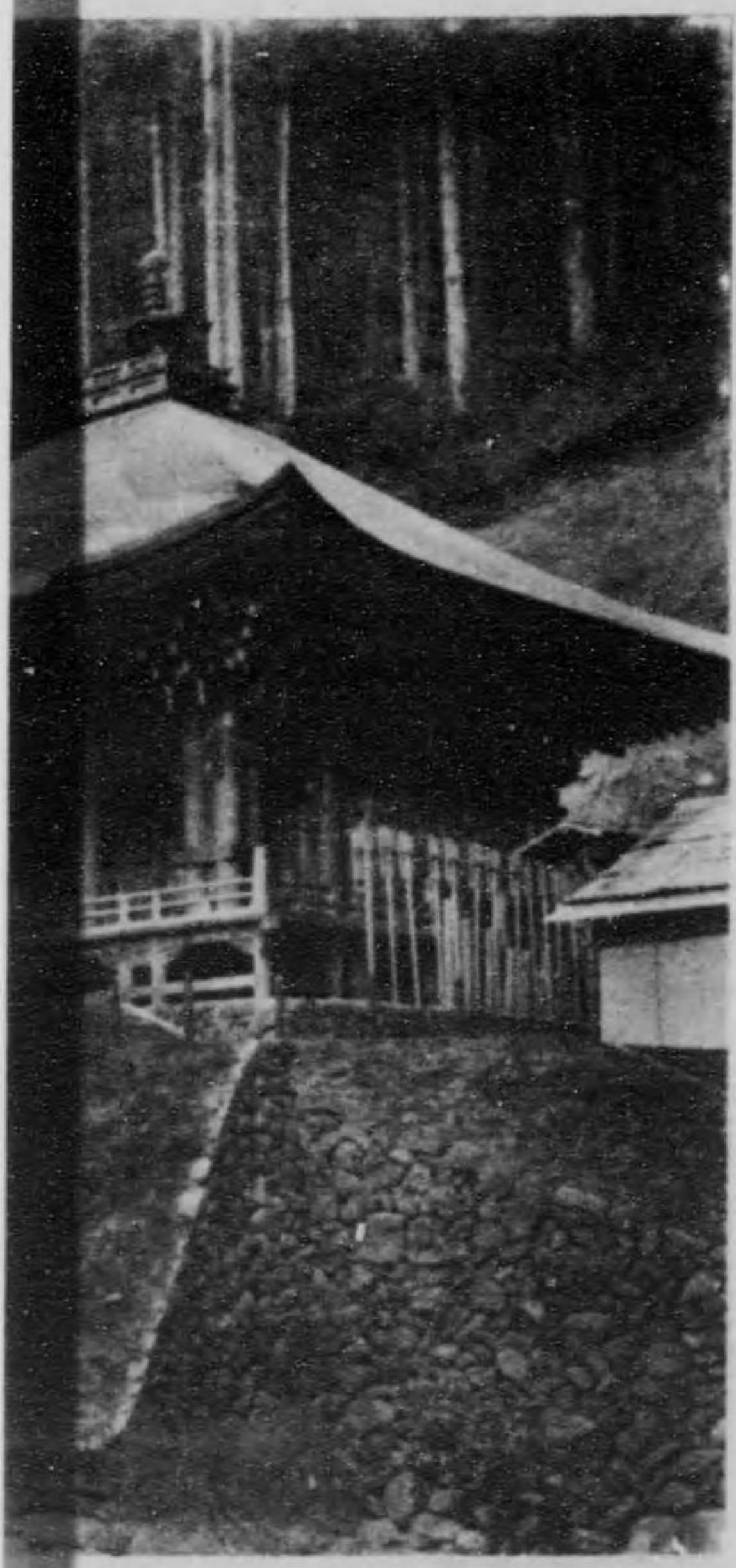
(久万局)當山後白河天皇皇妹尼宮の御墓所あり次へ百丁、畑の川宿あり、こゝより岩屋寺は打戻りなり、大莊嚴園より上れば深山幽谷にして絶景なり鎖禪定、白山権現せ一の高梯あり



本尊 不動明王 (大師開基)

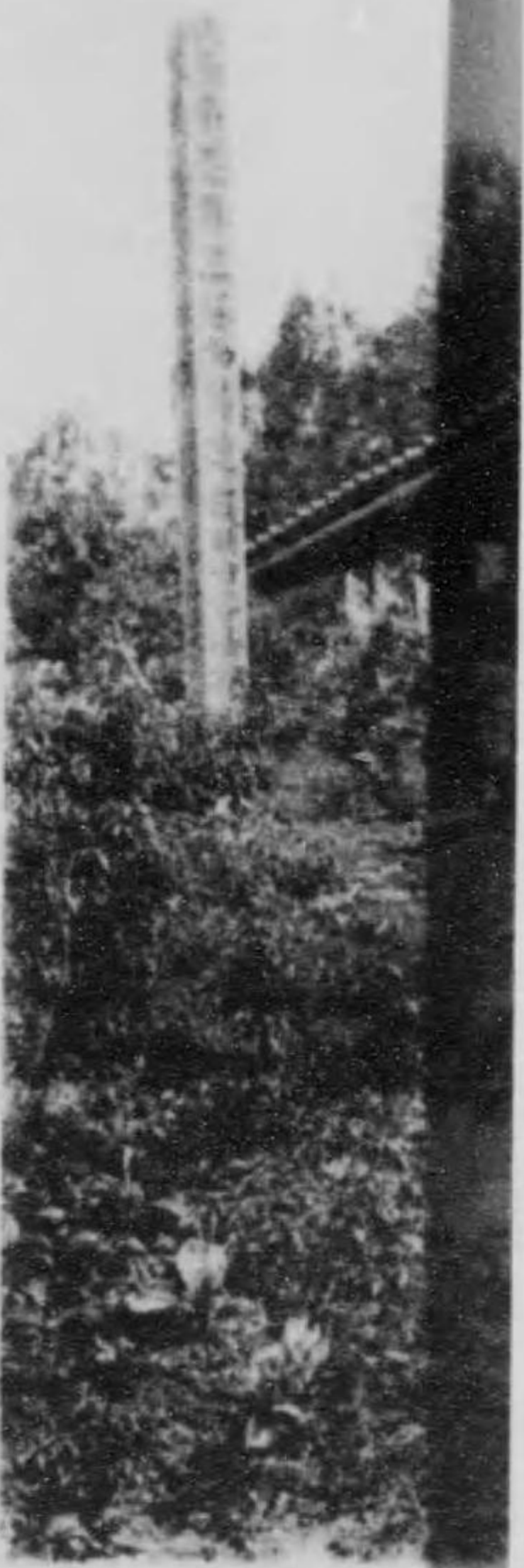
詠歌

だいやうのいさかの岩屋寺
石の中にも極楽をぞある



十四第

(久万局) 當山後白河天皇皇妹尼宮の御墓所あり次へ百丁、畑の川宿あり、こゝより岩屋寺は打戻りなり、大莊嚴園より上れば深山幽谷にして絶景なり鎖禪定、白山權現せ一の高梯あり



寺寶

本尊 不動明王 (大師開基)



詠歌
 だいりやうのいゝる力の岩屋寺
 石の中にも極楽をぞある



(東古味局) 山脈突兀として巨巖老杉畫尚ほ暗し大師堂は四國隨一の建築なり山には三寶鳥、慈悲鳥、鼓鳥、鐘鼓鳥、鈴鳥、笛鳥の轉々を聞、朝夕の霧深く、山高き谷の朝霧海に似て松吹く風を波にたとへむ」と故に山麓あり、通夜を許す、次へ六里十町、畑の川へ戻る溪の途に出れば古岩屋、二里半三坂峠より急坂を下り

寺屋岩山岸海(宗同)番五十四第

村川七仕郡同



本尊 藥師如來

初款

(行基作)

極楽の淨瑠璃世界たくり(ば)
うくる苦衆はむくひなり(ま)



第 四 十 六 番 (宗同) 醫王山淨瑠璃寺

温泉郡阪本村

(久谷局) 次へ五丁



本尊 阿彌陀如來 (惠心僧都作)

初款

みづと見えて妙よむ人は八咫も

三佛のあんとこそ聞け

(久谷局)次へ五丁



寺瑠淨

本尊 阿彌陀如來 (惠心僧都作)



詠歌

花と見ても秋よむ人は八咫も
三佛の多んとこそ聞け



(久谷局)次へ一里、荏原村文珠院は衛門三郎の古蹟八ツ塚あり、小
村を過ぎ重信川、大水の時川下に森松鐵橋あり、杖の淵清水あり

寺坂八山野熊(宗言真)番七十四第
村同郡同



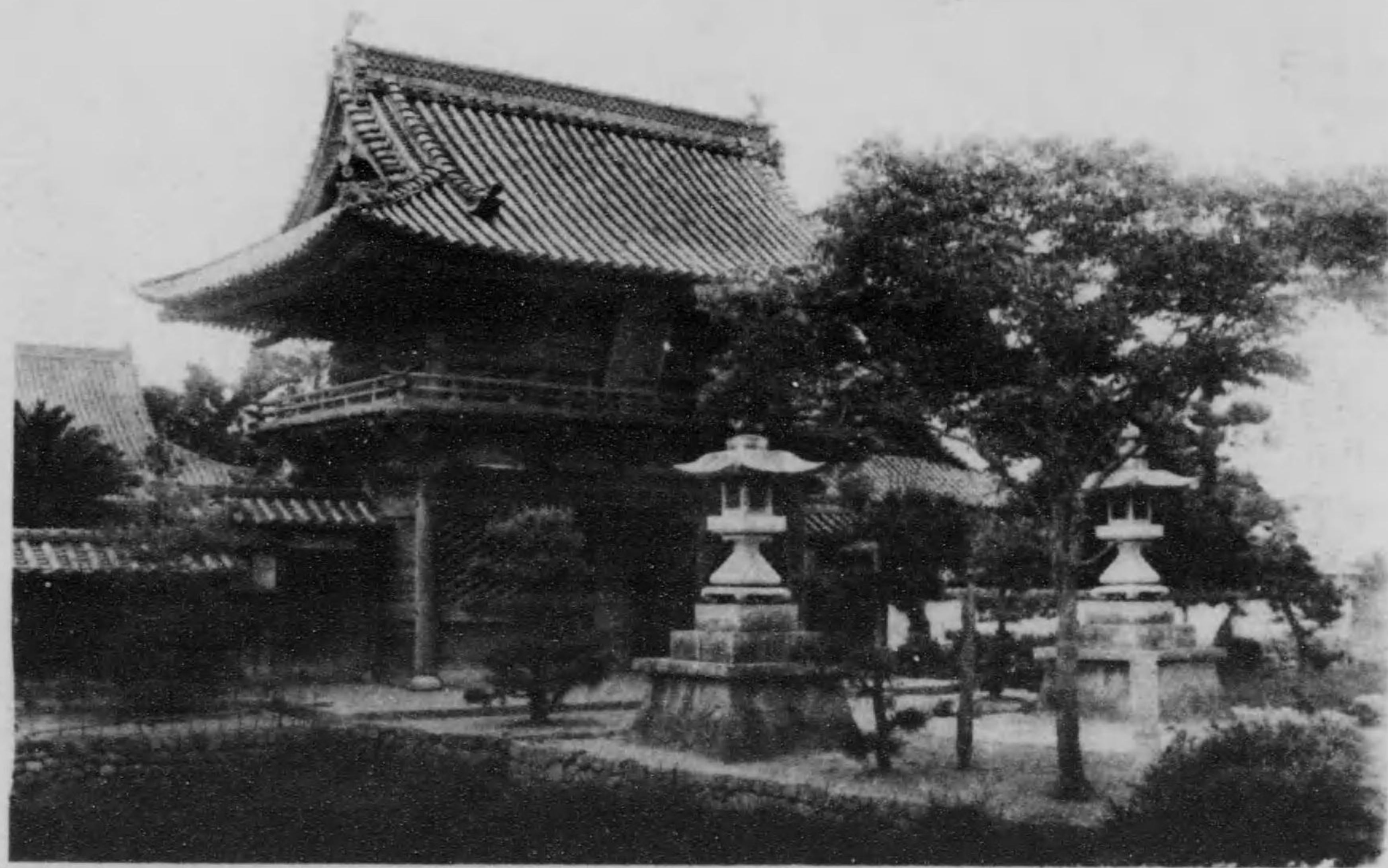
本尊 釋迦如來

詠歌

(行基開基)

十劫の我身をすてずそのまに
浄土のち(ま)いりこそすれ

(久米局)次へ二十五丁



寺林西山瀧清(新義真言宗 山派)番八十四第

村米久郡同



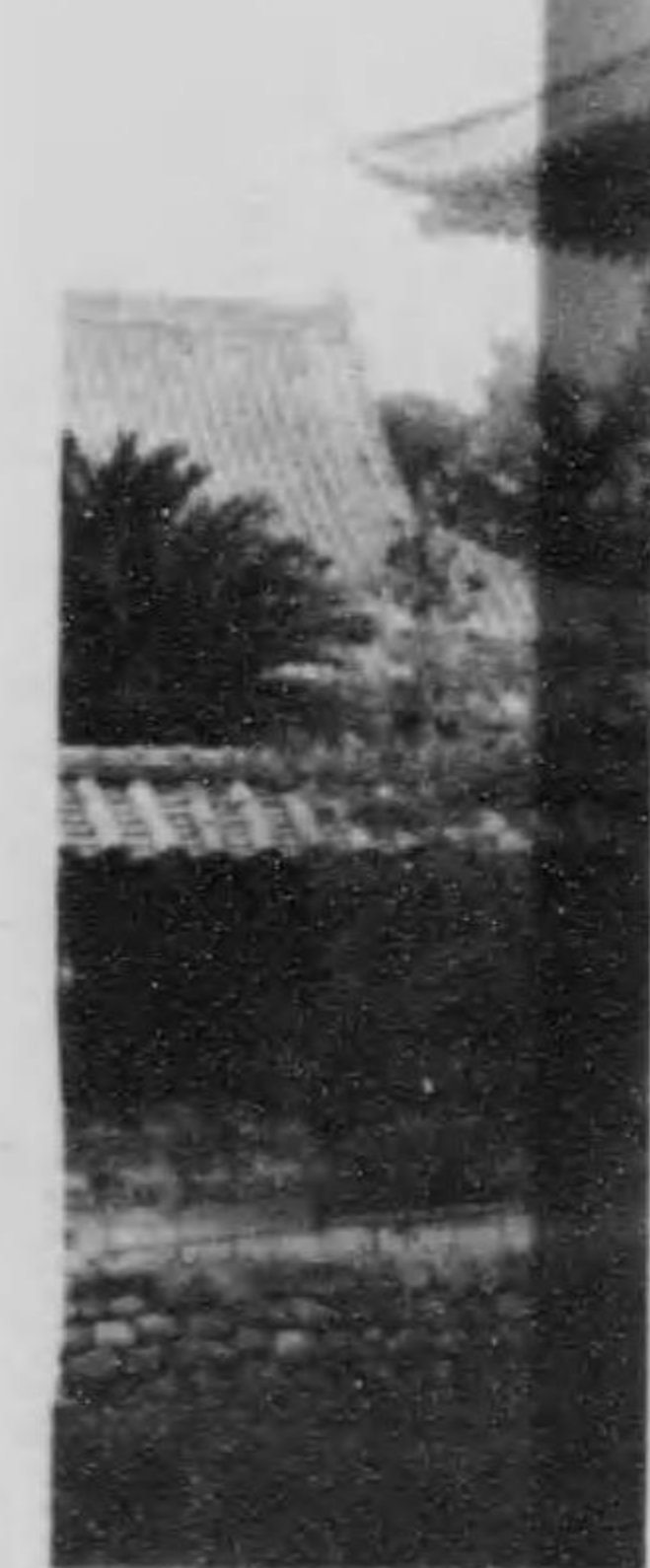
本尊 十一面觀世音菩薩

詠歌

(大師作)

弥陀佛の世界を尋ね行きたくは
西の林のち(ま)いりこそすれよ

(久米局)次へ二十五丁



寺林

本尊 釋迦如來 (行基開基)



詠歌

十剎の我身とすてずそのまに
浄土のち(ま)いりこそすれ



(久米局)次へ十五丁、
當山に空也上人の古像あり
境外縣社日尾八幡社、宿あり

寺土浄山林西(宗同) 番九十四第

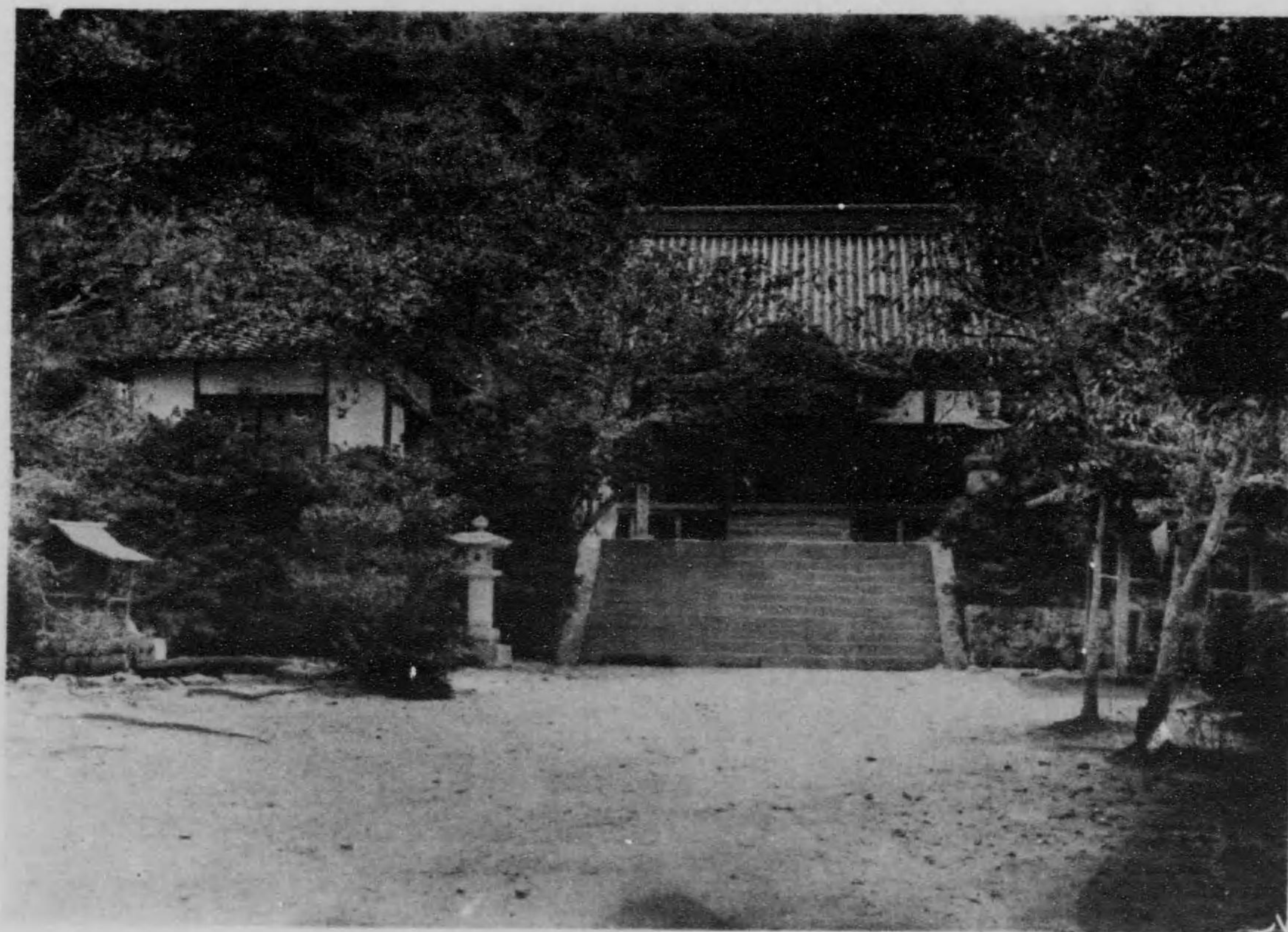
村米久郡同

本尊ほんぞん藥師やくし如來にょらい (行基作)



詠うた歎かな

よろしうこそはんだなりとも念ねんふらず
衆しゆ病びやうなかれとのそみいられよ



(松山局)境内けいだい歡喜くわんぎ天堂てんどうあり、次つぎへ二十町にじゅうちやう、石手川いしでがわを渡りて

寺てら多た繁はん山さん東とう (宗同) 番十五第

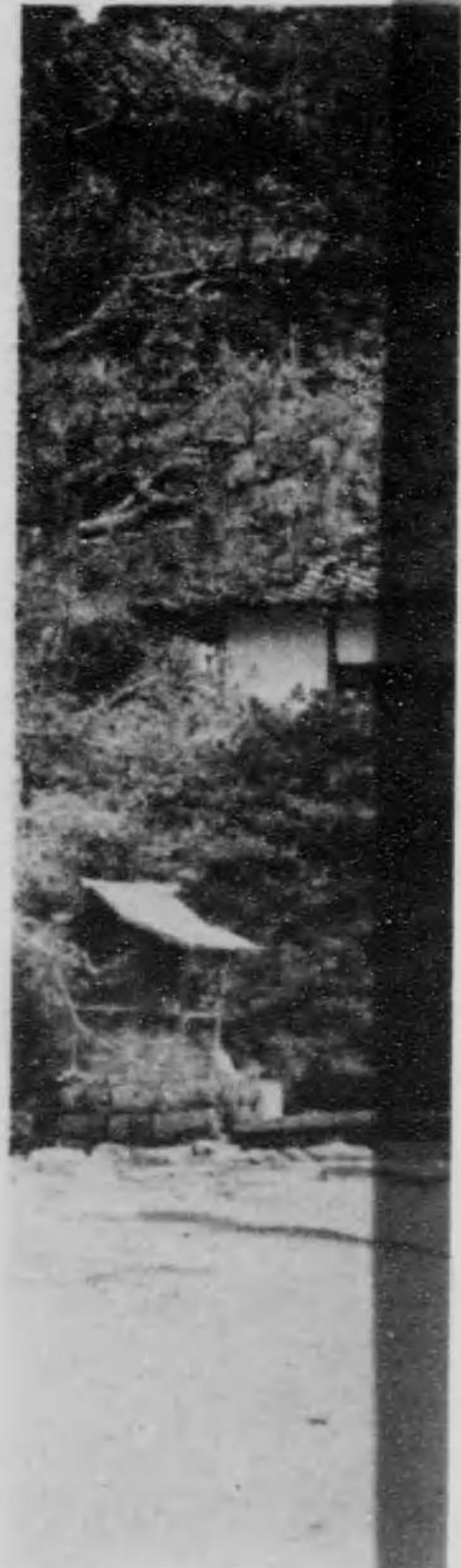
村原桑郡同

本尊ほんぞん藥師やくし如來にょらい (行基作)



詠うた歎かな

西さい方ほうをよそとは違ちがひし安あん公こうの
寺てらふまありてうくさすわく



寺多

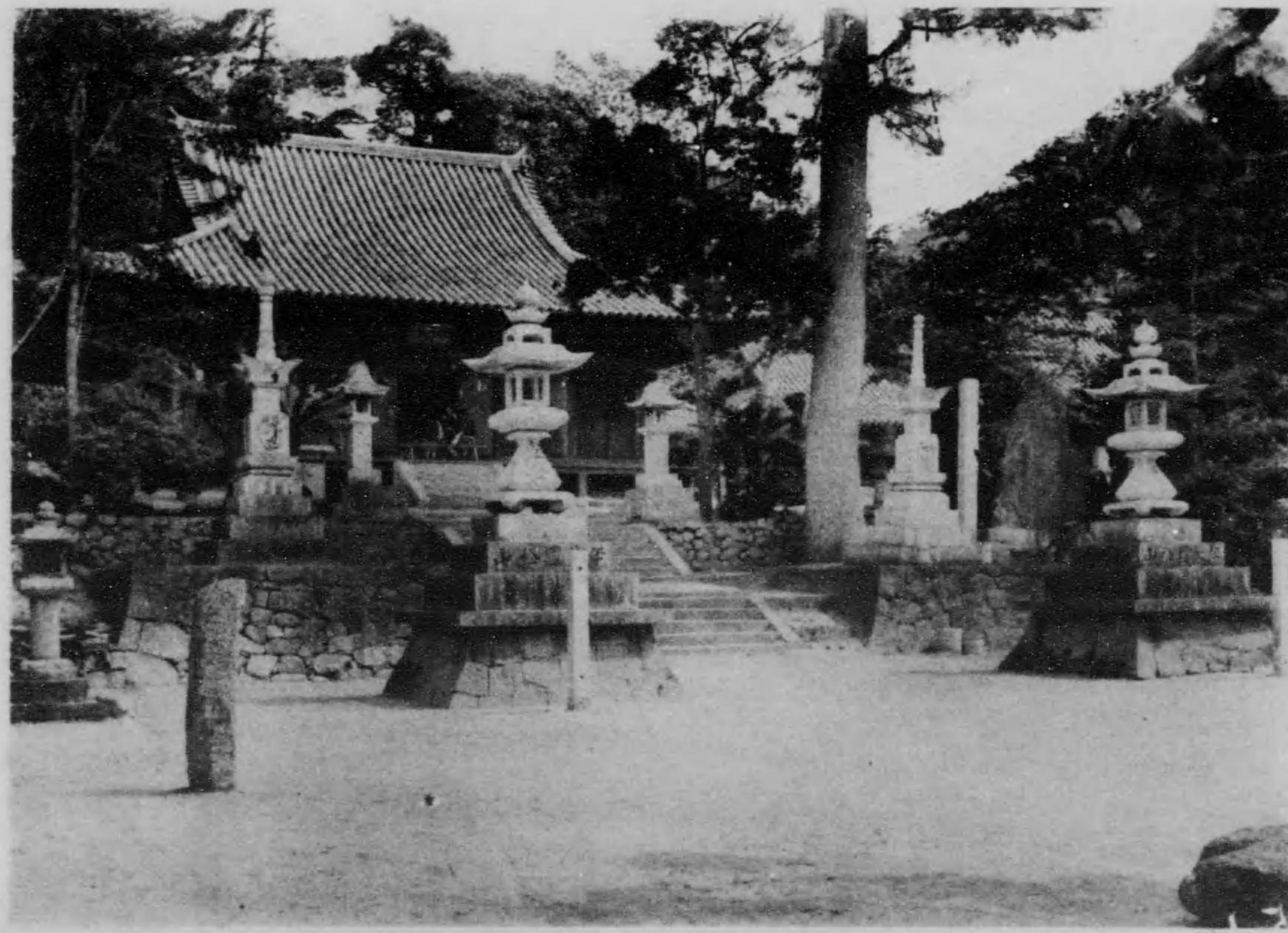
(松山局)境内秋喜天堂あり、次へ二十町、石手川を渡りて

本尊 薬師如来 (行基作)



詠歌

あ方をよそとはままし安んぶの
寺よまありそうくよすらく



寺手石山野熊(宗同)番一十五第

村後道郡同

(松山局)當山の本堂、仁王門、三重塔、鐘樓堂は皆特別保護建造物なり、
 衛門三郎再生の玉の石は什寶にして其他寶物多く巨利なり、八丁行け
 は道後温泉場なり、一遍上人の誕生地賢嚴寺に在り、宿多し、次へ二里、
 松山市を見る時は十丁余の廻りとなる、山越、湖見和氣村に至る

本尊 十一面觀世音菩薩



誦歌

大山のほれば汗のおでけれど
 後の世思は何の苦もなし



(堀江局)仁王門本堂は特別保護建造物にして本堂は真野長者の一夜
 建立なり、六體の觀世音は皆國寶たり、次へ十八丁
 安藝の宮島へ參詣の人は當寺より十二丁高濱港より宇品經由すべし
 往復遠路安全なり

第 二十五番 (新表義) 瀧雲山大山寺

同郡和氣村

本尊 阿彌陀如來 (行基作)



誦歌

是迎の弥陀の光の圓のま
 照りそり影は夜なくの月

(堀江局)次へ九里八丁、堀江村、北條、難波、菊間、日輪寺、厄除大師、
 龜岡、大井、乃万村



寺明圓山賀須(宗同) 番三十五第
 村同 郡同

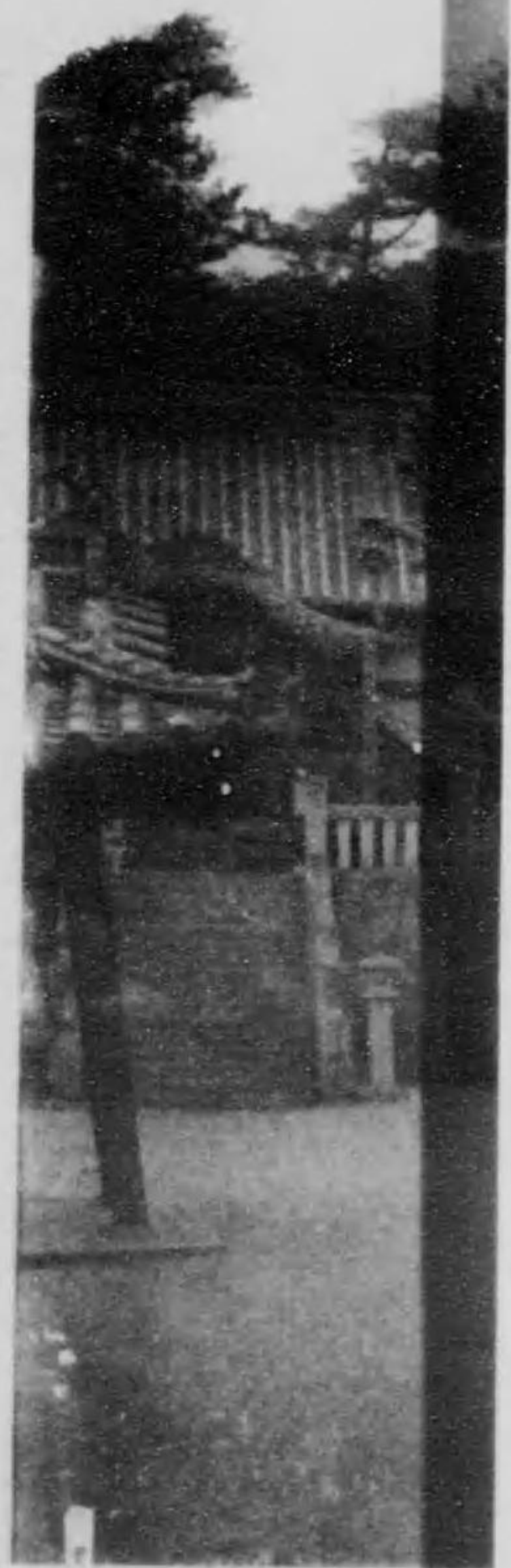


秘訣

為迎の弥勒の光の周囲を
 照りそつ影は夜なくの月

本尊 阿彌陀如來 (行基作)

(堀江局)仁王門本堂は特別保護建造物にして本堂は真野長者の一夜
 建立なり、六體の觀世音は皆國寶たり、次へ十八丁
 安藝の宮島へ參詣の人ば當寺より十二丁高濱港より宇品經由すべし
 往復漁船安全なり



寺山

本尊 不動明王



詠歌

(行基作)

くもりぞき懐の縁とながむれば
のこさず影とつすものかふ



(今治局) 次ハ一里 國道なり

第五十四番 (新義真宗) 近見山延命寺

越智郡乃万村

本尊 大通智勝佛



詠歌

(行基作)

このところみしまに夢のさめぬれば
別宮とても同じ重跡

(今治局)次へ一里、國道なり



寺に命延

本尊 大通智勝佛 (行基作)



詠歌

このところみしまに夢のさめぬれば
別宿とても同じし重踏



坊光南山宮別 (宗吉真) 番五十五第

村吉日郡同

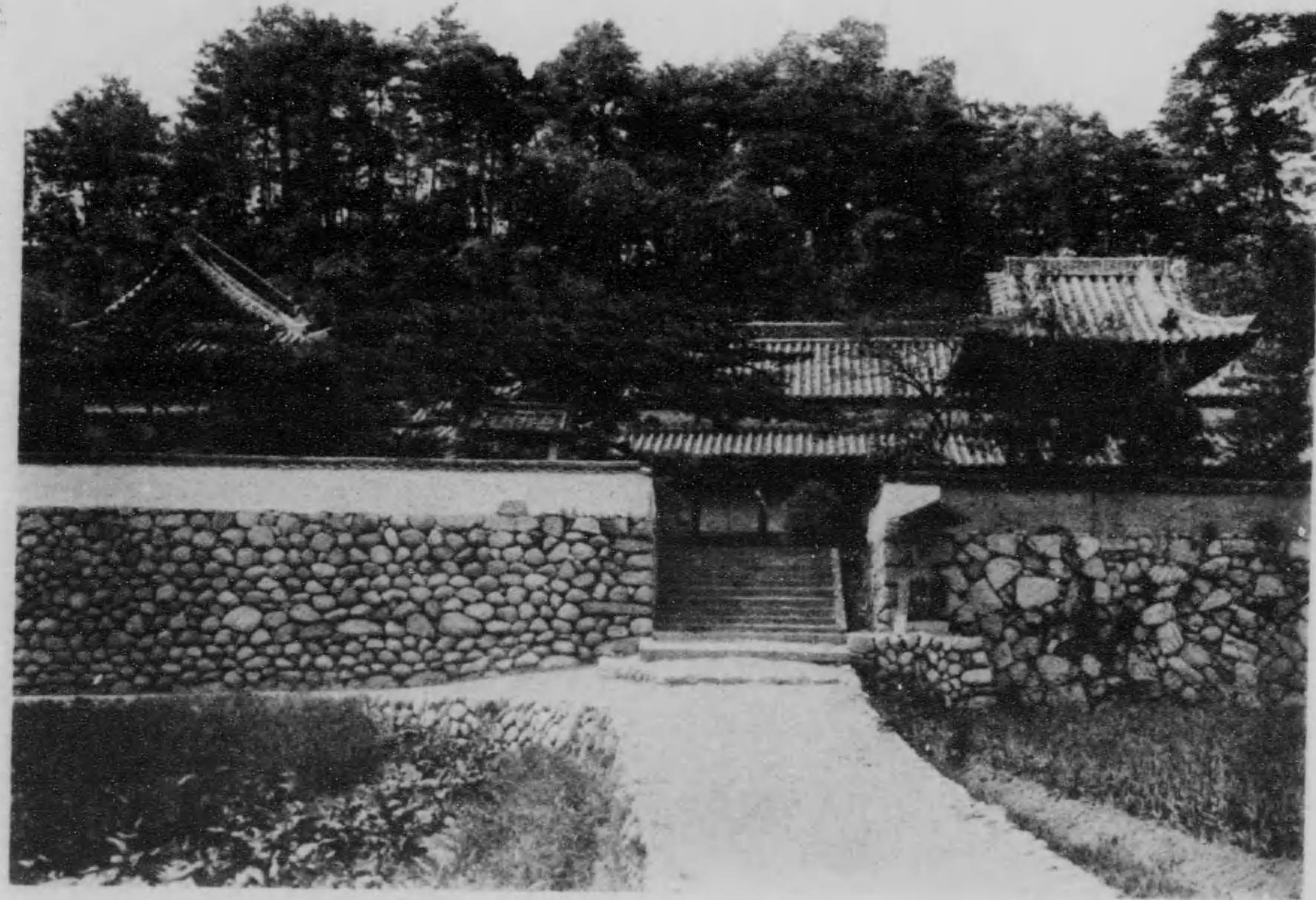
(今治局)國幣中社大山祇神社の別當なりしが佛刹と分れたり、門を
出れば高野山出張所あり、次へ十八丁



本尊 地藏菩薩 (大師作)

詠歌

みな人のまうてやがてたいこも
あせり引導たのみをまつ



寺山泰山輪金 (宗吉真) 番六十五第

村高日郡同

(今治局) 次へ十八丁 途中蒼社川を渡り



本尊 阿彌陀如来

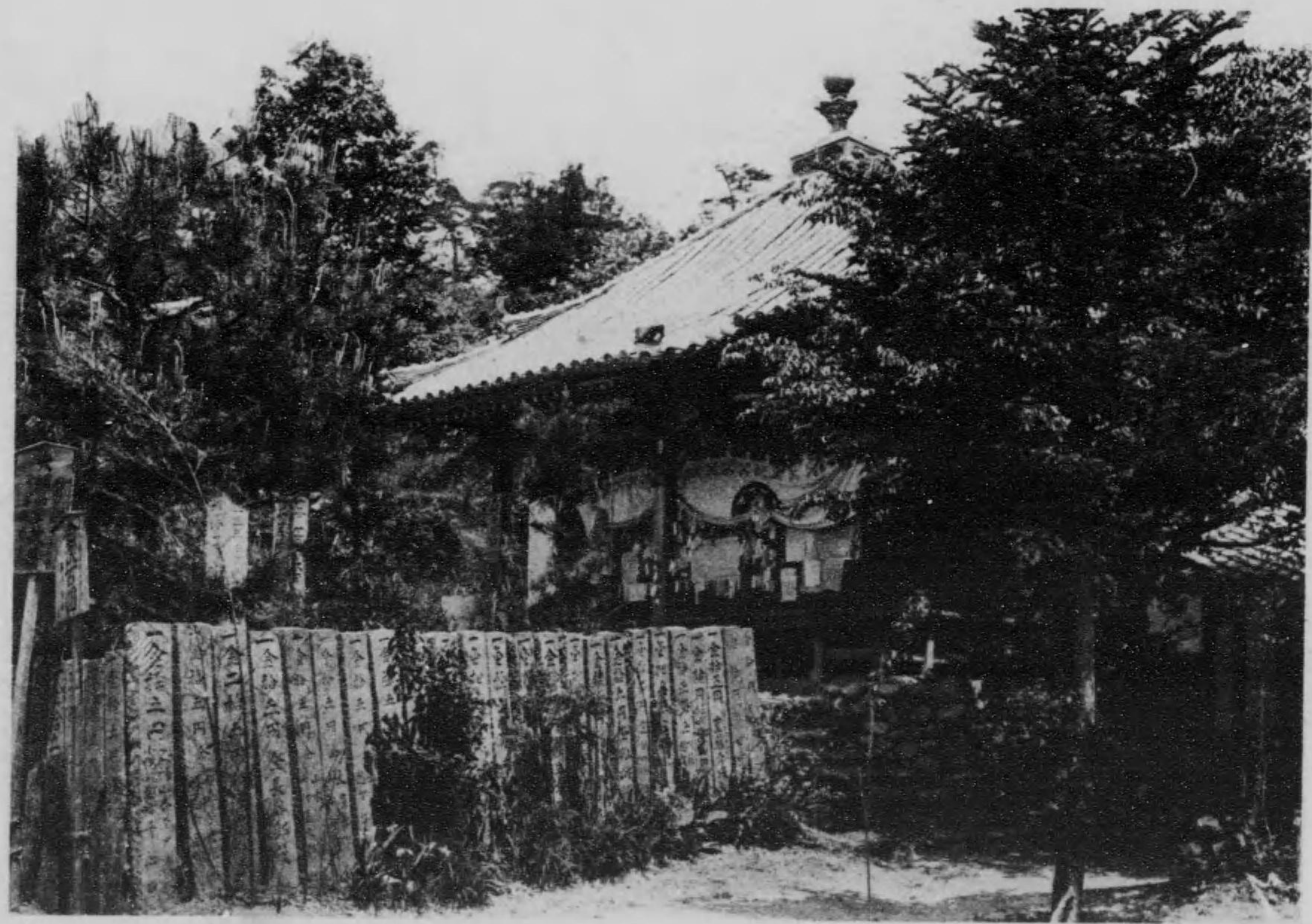
詠歌

この世あは弓矢を穿る八幡あり
あせは人を救ふ弥陀佛



五第

(久和局)次へ二十丁、山路を上る、森林を三丁打戻り



寺福榮山頭府(宗言真)番七十五第

村部鴨郡同

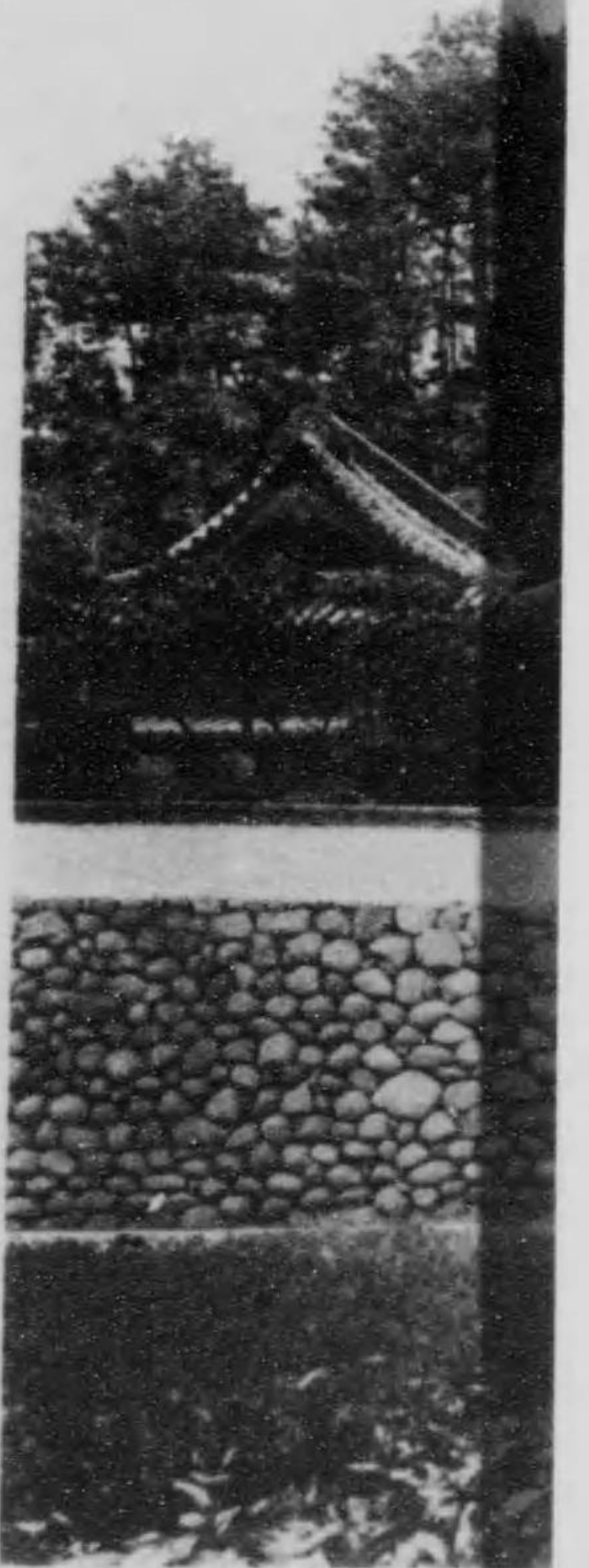


誦如

本尊 阿彌陀如來

この世は弓矢と寄る八幡より
 身命は人を救ふ弥陀佛

(今治局)次へ十八丁、途中蒼社川を渡り



寺山泰

本尊 千手觀世音菩薩



詠歌

立ち寄りを作ればまよやすみつ
六字を唱ひ鐘と深むべし



(九和局)次へ五十丁 坂を下りて途中頼田川あり平時水なし

寺遊仙山禮作(宗同)番八十五第

村同郡同

本尊 藥師如來 (行基作)



詠歌

しゆごのたまたまあがむる國をち
いよりのむむやくしなうけり



十五第

(九和局)次へ五十丁 坂を下りて途中頓田川あり平時水なし



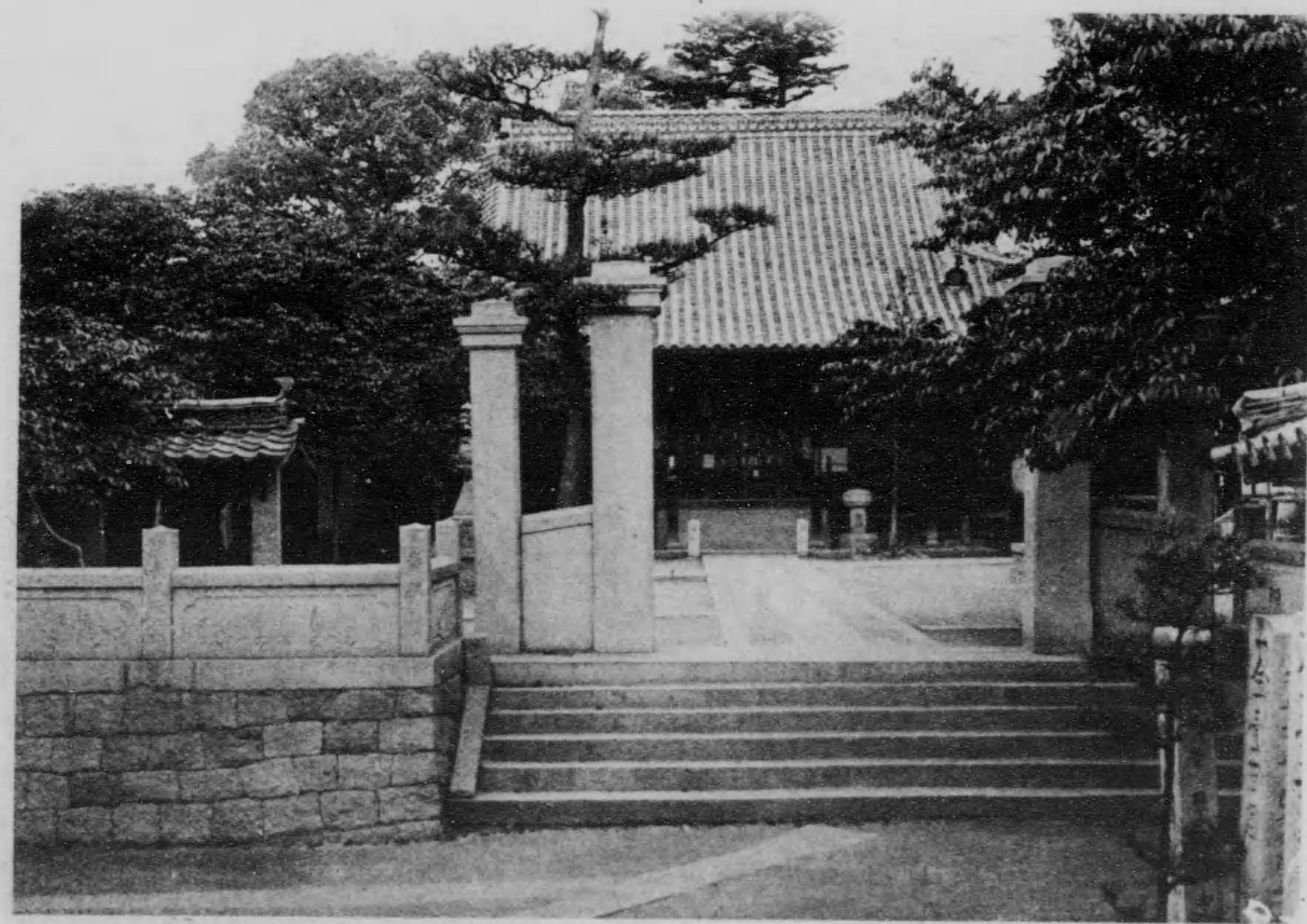
寺遊

本尊 薬師如来 (行基作)



詠

しゆごのあめたてあがむる國をち
いよのぐむやくしなうけり



寺分國山光金(宗律言真)番九十五第

村井櫻郡同

(櫻井同)伊豫の國分寺なり庭に 天皇松、七重塔礎石ありまた南朝
の忠臣脇屋義助公廟あり、次へ六里、櫻井、楠樹村、白井の清水、
生本地蔵尊、三芳村より横峯山へ百六十八丁、大明神河原中山川を
渡り丹原、大頭、夫より六十丁難路の山なり、幽静なる山中の風情
は世境を絶つ、途中小松町に佛生山清樂寺あり

本尊 大日如來



御款

たて候に峯や山邊小寺たて、
あまねく人をすくふものかな



(小松局)堂寺は高山なれば通夜堂あり、
石鏡大権現の遙拜所あり、
次へ八十六丁、山路なり

第十六番 (真言宗) 横峰山横峰寺

周桑郡千足山村

本尊 大日如來



御款

後の世と思はまわれ香園寺
とのてとまらぬ水鏡力水

(小松局) 次へ八丁



寺園香山檀梅(宗言真) 番一十六第

村松小郡同



源秋

本尊 大日如來

後の世と思へばまみれ香園寺
とめてとまらぬと流る水

(小松局) 當寺は高山なれば通夜堂あり、石鏡大権現の遙拜所あり、
次へ八十六丁、山路なり



寺峰横

本尊 十一面觀世音菩薩 (大師作)



詠歌

さみだれのあとに出たる玉の井は
しうつぼなるとや一の宮川



(小松局) 伊豫の一の宮なり、次へ七丁

寺壽寶宮 一 (宗言真) 番二十六第
派野高

町同郡同

本尊 毘沙門天王 (大師作)



詠歌

身のうちのおしほしほを打ちすて
みなを祥とのおをみいれよ



第

(氷見局)二十丁國道



寺祥吉山教密(宗言真 派寺東) 番三十六第

町見氷郡居新



秘松

本尊 毘沙門天王 (大師作)

身みのううちちのの強あままいいほうほうととおおももすすて
みなみなをを祥しやうももののををみみいいののれれよよ

(小松局) 伊豫の一の宮なり、次へ七丁



寺壽寶



阿彌陀

本尊 阿彌陀如來 (役行者作)

前は神うしろは佛ごくらくの
よろずの罪をくだくるつち



寺神前山鉄石 (真言宗御室派) 番四十六第

村戸神郡同

(西條局) 當山は石鉄登山の靈刹なり、縣社石鉄神社あり、次へ十三里、大町、中萩、土居、寒川迄は國道、中の庄より山路に入る

本尊 十一面觀世音菩薩 (大師作)



十一面觀世音菩薩

おそろしや三つの角にも入らなれば

こころをまろく強たためゆ



第



寺神前

(西條局)當山は石鉄登山の靈刹なり、縣社石鉄神社あり、次へ十三里、大町、中萩、土居、寒川迄は國道、中の庄より山路に入る

本尊 十一面觀世音菩薩 (大師作)



謝款

おそろしや三つの角にも入るなりは

こころをまろく 慈院とたのめよ



寺角三山靈由 (宗言真) 番五十六第 (派寺院大)

村田金郡摩宇

(川之江局)當山の奥の院厄除大師仙龍寺は五十八丁深溪にして仙境なり、次へ八里、山を出て、平坦の道、坂を下れば川瀧村、國道一里の後は山路斗りなり、伊豫、阿波の國境の時を越へ阿波三好郡佐馬地村、佐野、右に往けば白地村、吉野川より十八丁登れば金毘羅大権現の奥の院著菰寺四國隨一の靈山なり風景また佳なり、次へ六十六番へ百五十八丁、國道、谷川の逆流を追ひ上野呂内より十八丁登れば



本尊 千手觀世菩薩 (大師作)

誦歎

はるけりと雲の邊りの寺に來て
月日を今はふもとにぞみる



第 六 十 六 番 (真 吉 宗) 巨 鼈 山 雲 邊 寺

徳 嶋 縣 三 好 郡 佐 馬 地 村

(白地局) 海拔三千六百尺の山頂なり、次へ七十八丁、峻坂を下り、粟井村を経て岩なべ池より小徑に入る

本尊 藥師如來 (大師作)



誦歎

うるおまし小松尾寺をながむれば
のりのと(の風を吹さめり



第 六

(辻局)次へ七十三丁、門前宿あり、三谷立石より小道を行く



寺し興こう大だい山さん尾お松まつ小こ(宗しゆ言ごん真ま大だい 派はい寺じ覺かく) 番 七 十 六 第

村 辻 郡 豊 三 縣 川 香

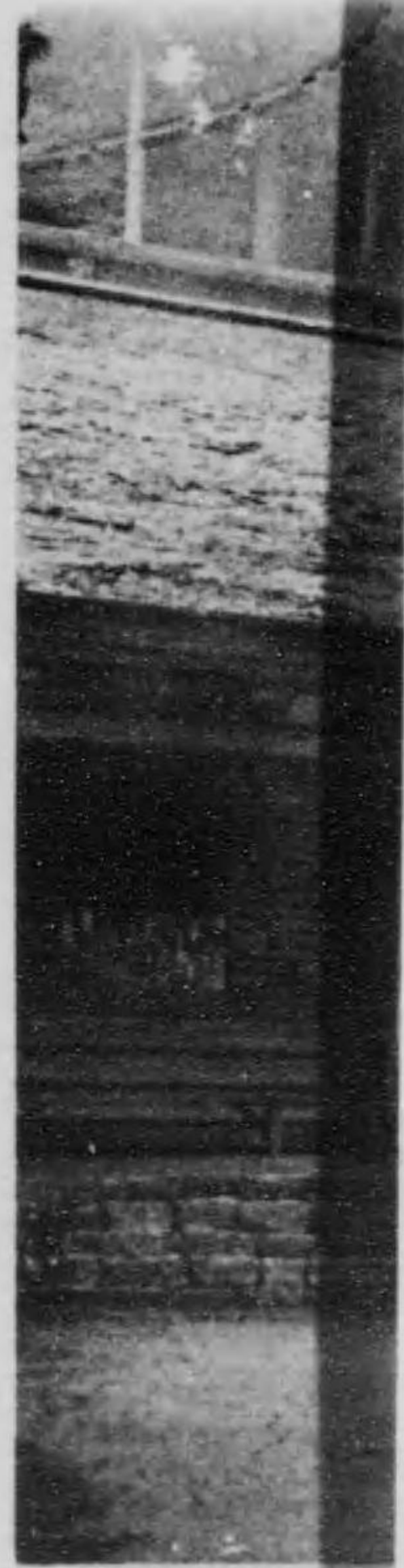


神かみ歌か

うゑおまこまつしおまつ小松尾寺をながむれば
のりのとかぜしかぜの風を吹ふささめり

本尊ほんそん 藥師やくし如來にょらい (大師作)

(白地局)海拔三千六百尺の山頂なり、次へ七十八丁、峻坂を下り粟井村を経て岩なべ池より小徑に入る



寺じ



詠歌

本尊 觀世音菩薩 (大師作)

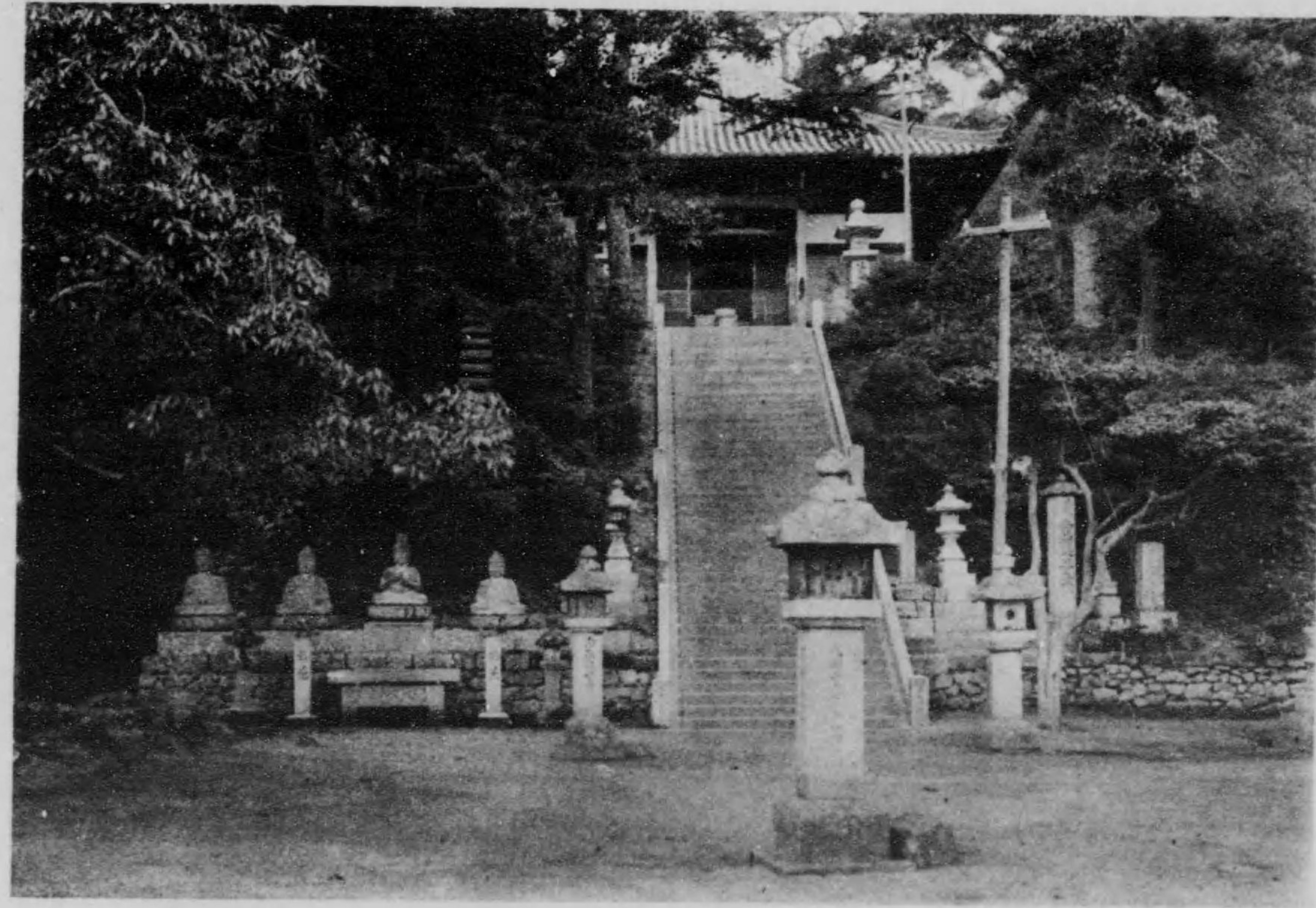
観音の慈悲の力つよければ

おもまのひとをもひとあけた



十六第

(観音寺局) 琴弾八幡社あり大師靈筆本地佛は國寶なり



詠歌

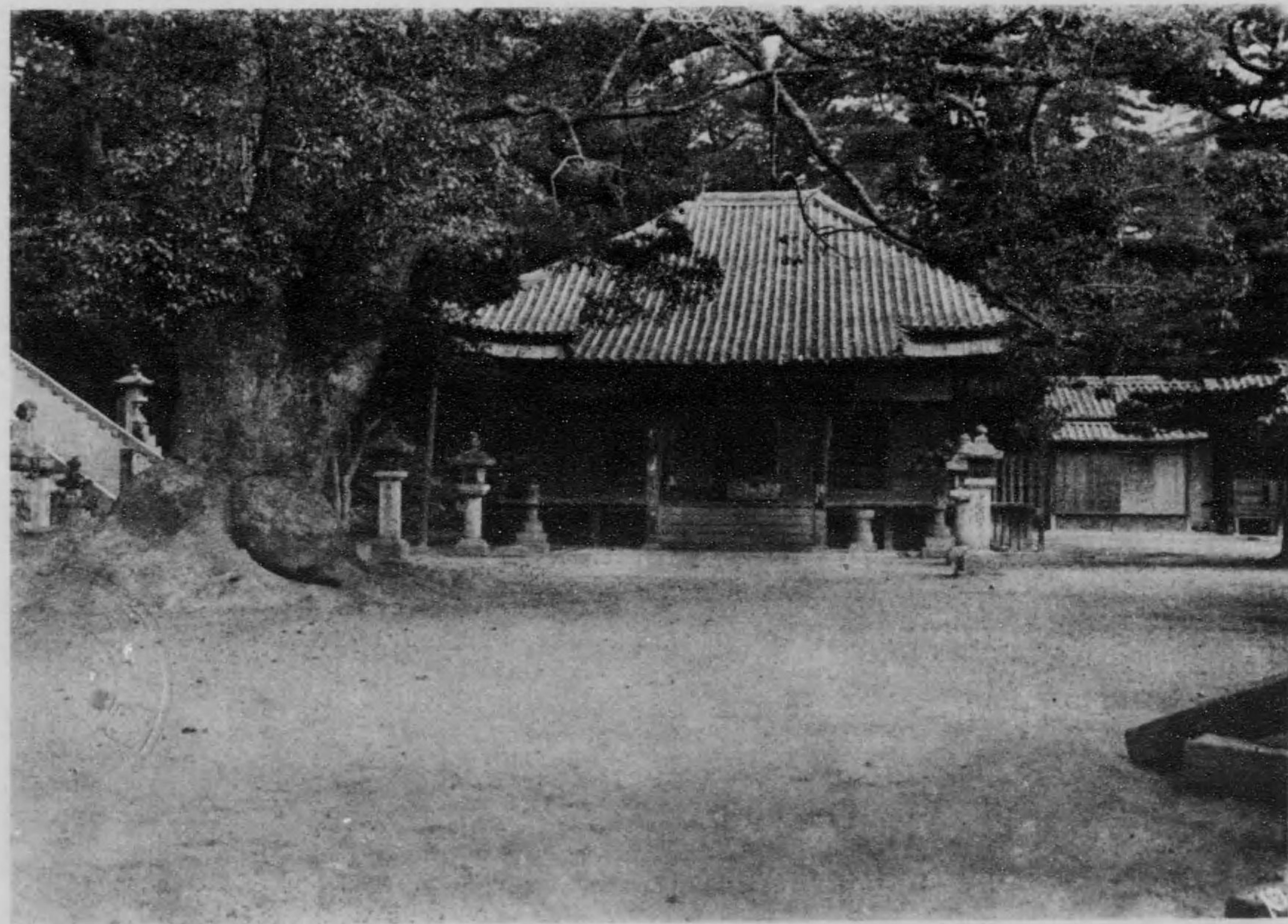
本尊 來迎阿彌陀如來 (大師作)

笛の音も松吹く風も琴も弾くも
唄うも舞ふも法のこえ

院惠神山彈琴 (宗言真) 番八十六第

町寺音觀郡同

(同局) 納經は二箇所分出るなり、青松白砂の琴弾公園風景よし、次へ三十丁、道は平坦なり



第 六 十 九 番 (同宗) 七寶山觀音寺

所 同



祈 願

龍音の大悲の力つよければ
おもきつみともいそあけそたへ

本尊 觀世音菩薩 (大師作)

(觀音寺局) 琴彈八幡社あり大師靈筆本地佛は國寶なり



神惠院



詠歌

もとやまに誰が植ゑたる花なれや
まことそなたとれたらむけふそなた

本尊 馬頭観世音菩薩 (大師作)



(本山局) 本尊は國寶本堂大師一夜建立仁王門特別保護建造物五重大塔あり、宿あり 次へ百八丁

寺山本山寶七 (宗言真) 番十七第

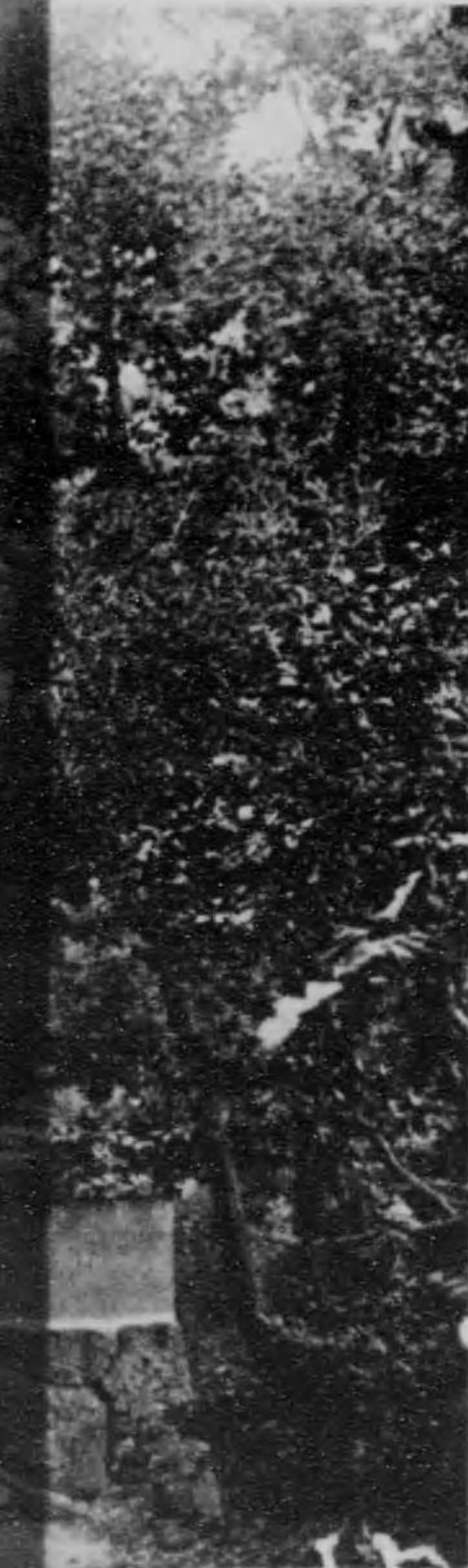
村山本郡同



詠歌

免人とつまつれなやむも海谷寺
たかりそめもぬきこもそよあ

本尊 千手観世音菩薩 (行基作)



七第



山寺

(本山局)本尊は國寶本堂大師一夜建立仁王門特別保護建造物五重大塔あり、宿あり 次へ百八丁

本尊 千手觀世音菩薩 (行基作)



詠歎

忍人とつれなやむも 谷寺
たかりそあもぬきともそよあ



第十七番 (真小 吉野 宗派) 山御劍以 彌谷寺
同郡大見村

(上高瀬局)大師請來鈴國寶あり、境内幽静にして大師修行の聖地、次へ二十八丁、途中西行庵、芋田の蹟、水莖の岡あり

本尊 大日如來



詠歌

わづかおも万茶籠おかし人はたぐ
ふたたびみたびかへらざらまし



(善通寺局) 大師兩界万茶羅に配し寺を建つ、不老松、空掛櫻あり次
へ三丁

寺羅茶曼山志拜我(宗言真 派野小) 番二十七第

村原吉郡度多仲

本尊 釋迦如來



詠歌

まよひぬるとい道衆まよすとはんと
たうとまこやまにいつる釋迦寺



七第

(普通寺局) 大師修行の捨身ヶ嶽の聖地なり、次へ十五丁、曼荼羅寺迄打戻りて行く



淨教

まよひぬるを道衆生すくはんと
たうとさやまにいつる釋迦寺

本尊 釋迦如來

寺 迦 釋 出 山 志 祥 我 (宗 同) 番 三 十 七 第

村 同 郡 同

(普通寺局) 大師兩界万茶羅に配し寺を建つ、不老松、空掛櫻あり次へ三丁



寺 羅 茶 曼

本尊 藥師如來 (大師)



誦歌

十二非味方にもてるいくさには
おのれどころ甲やまかな



(善通寺局) 門前練兵場は仙遊ヶ原の聖地、次へ十丁

寺山甲山王醫 (宗同) 番四十七第

村岡筆郡同

本尊 藥師如來 (大師作)



誦歌

我すまはよもまこえはてし善通寺
ふかそちひの法のともしび



(善通寺局) 門前練兵場は仙遊ヶ原の聖地、次へ十丁

寺山甲山

本尊 藥師如來 (大師作)



詞歌

我すまほよもきえはてし善通寺
ふかさちひの法のともしび



寺通善浦風屏(真小言野宗派) 番五十七第

寺通善郡同

(善通寺局) 弘法大師御誕生所屏風ヶ浦とて御父公佐伯善通卿の邸宅御建遊ばされし聖地なり、別格
本山にして金堂釋迦堂五重大塔婆樟老樹あり、仁王門、御影堂、奥の院、禮堂、寶物館、大旭殿、本坊、大
玄關、客殿、庫裡、藏殿の西大棟と敷、五岳とは火上山、中山我拜志山、筆山、香色山と稱し屏風浦とは大同年
間此の地入海に五岳相映寫して屏風に似たり地名となりし、西行庵、法然上人親齋上人三帝の御塔等
は尋ねし、國寶其他珍什多し是より象頭山、金毘羅宮
、叢詣の人は善通寺驛添車あり、また善通寺驛より金倉寺へ廿五丁添車あり